

移住者と地元住民が協働するまちづくり のための アンケート調査 集計報告

多くの移住者のみなさんにご協力をいただき、ありがとうございました。
WEBでの入力、アンケート用紙でのご回答、合わせて477名の方々から回答をいただきました。いただいた回答は、山梨大学や山梨県立大学の先生方のご協力もいただきながら分析を進めて有効に活用していきたいと考えています。
まず、第一次の集計結果を報告させていただきますので参照いただければと思います。

* 調査期間

2023年4月15日 から 2023年7月15日 までの3か月間

* 調査方法

- ・ふるさと倶楽部会員にアンケート用紙を配布
- ・地域での日常活動からつながりのある移住者にアンケート用紙を配布
- ・WEBからアンケート参加ができるQRコードを印刷したチラシを地域のカフェ、レストラン、スーパーなどに配置
- ・八ヶ岳ジャーナルでアンケートチラシを紹介
など、ふるさと倶楽部会員に限定せず、八ヶ岳山麓に移住してきた多くの人々にアンケートへの参加を呼びかける

* 回答方法

アンケート用紙の持参、郵送による回収に加えて、携帯もしくはパソコンからのWEB入力により回答

* 対象者

八ヶ岳山麓地域に移住してきた住民、および八ヶ岳山麓との二地域で暮らす人々

2023年8月

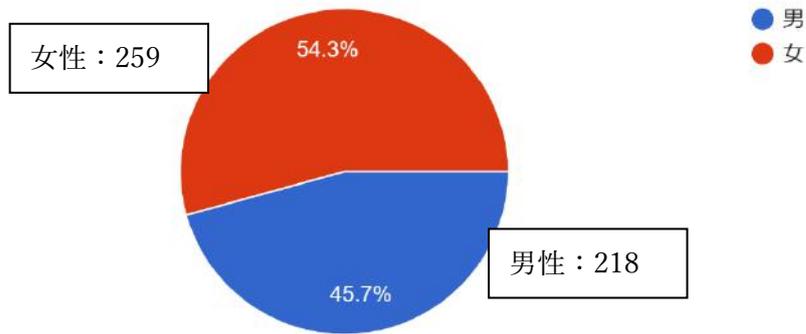
移住者と地域住民が協働するまちづくり委員会

共同代表	花岡利幸	山梨大学名誉教授
	跡部治賢	オオムラサキセンター名誉館長
	佐藤彰啓	ふるさと情報館代表
	馬場建二	八ヶ岳ふるさと倶楽部代表

【問 A. あなた自身の属性について】

A - 1. 性別

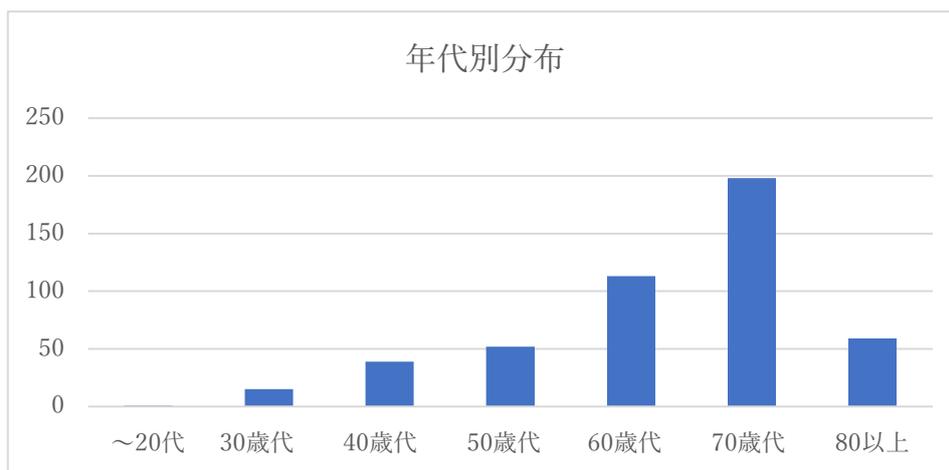
477 件の回答



* 回答数の絶対数は女性が多い傾向だが、移住民全体の比率を表しているわけではない

A - 2. 年齢

477 件の回答



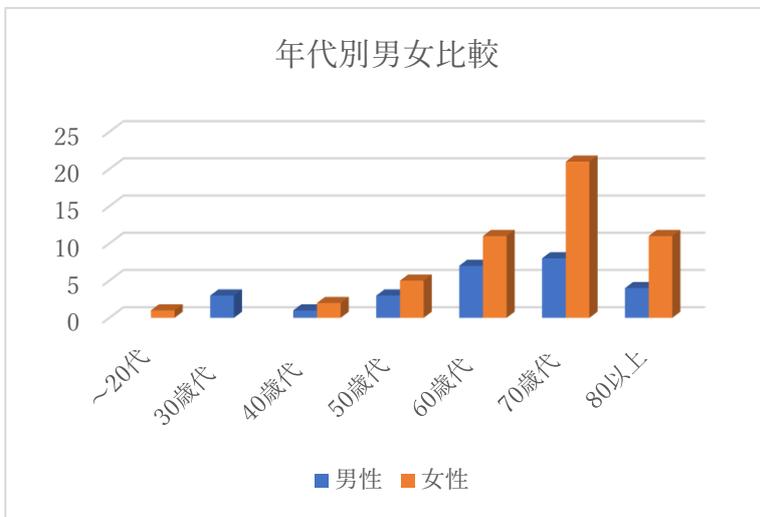
* 70歳代をピークとして、若い年代の人の数が少ない

* ふるさと倶楽部会員の回答が多いため構成要素に影響している可能性はある

A-3. 一緒に生活している家族は何人ですか
477件の回答

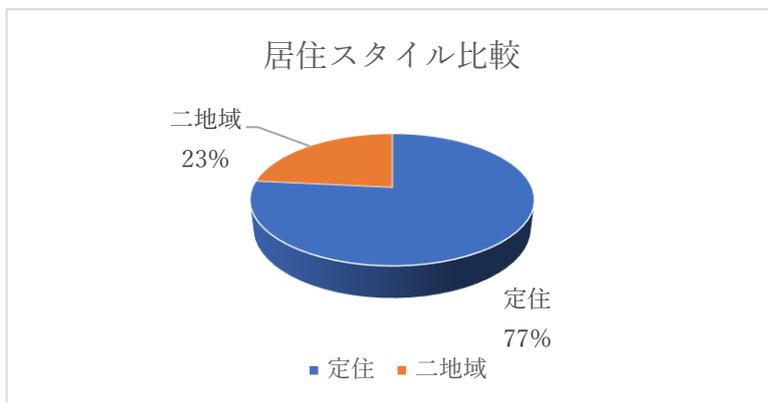


◆ 一人暮らしの人をさらに分析すると



	男性	女性
~20代		1
30歳代	3	
40歳代	1	2
50歳代	3	5
60歳代	7	11
70歳代	8	21
80以上	4	11

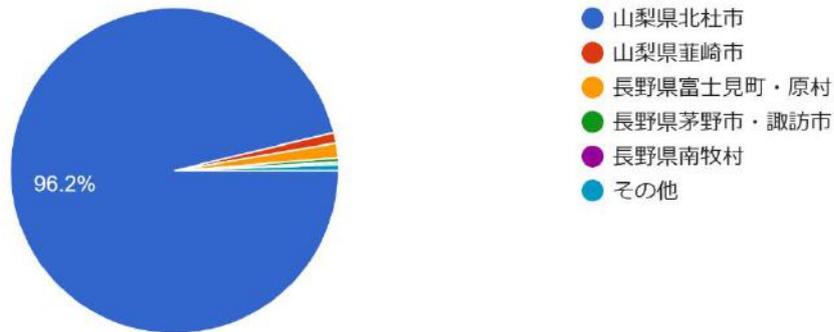
- * 一人暮らしの人が全体の16%というのは比較的に比率が高い
- * さらに女性の一人暮らしが男性の一人暮らしより多い



- * 別荘として利用し二地域暮らしをしている人ではなく、定住での一人暮らしの人が77%いる

A-4. 八ヶ岳山麓で住んでいる地域

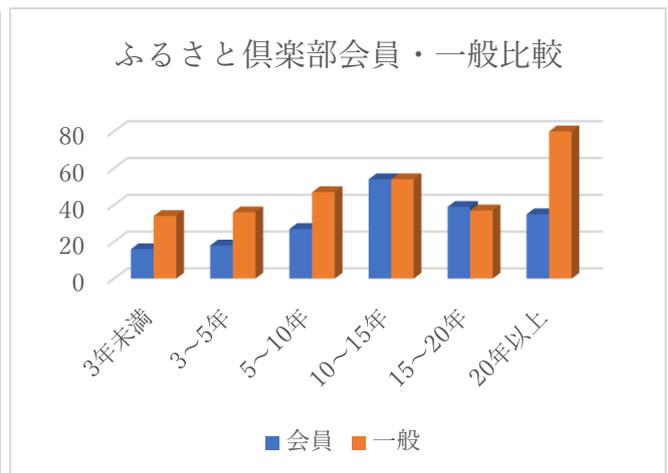
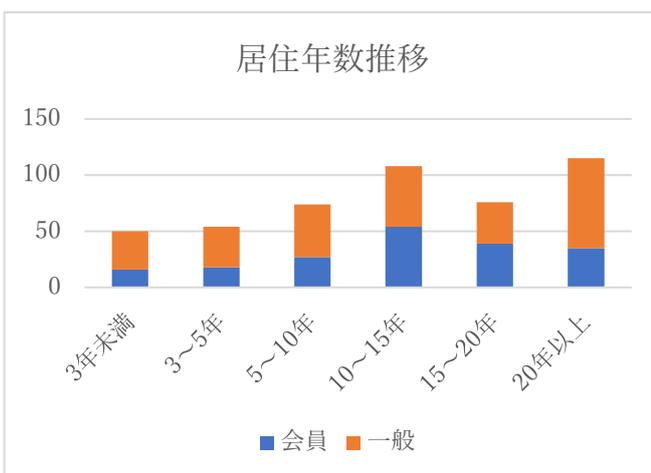
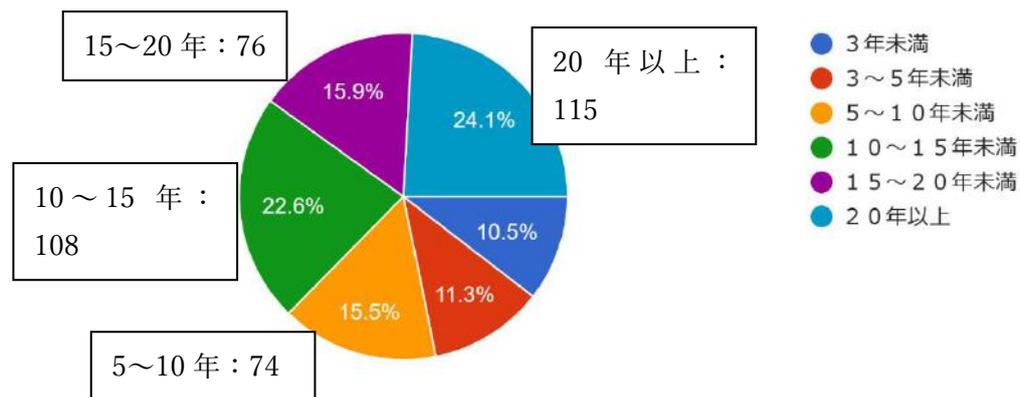
477 件の回答



* 回答者はほぼ北杜市に集中している

A-5. 現在の地域に住んで何年ですか

477 件の回答



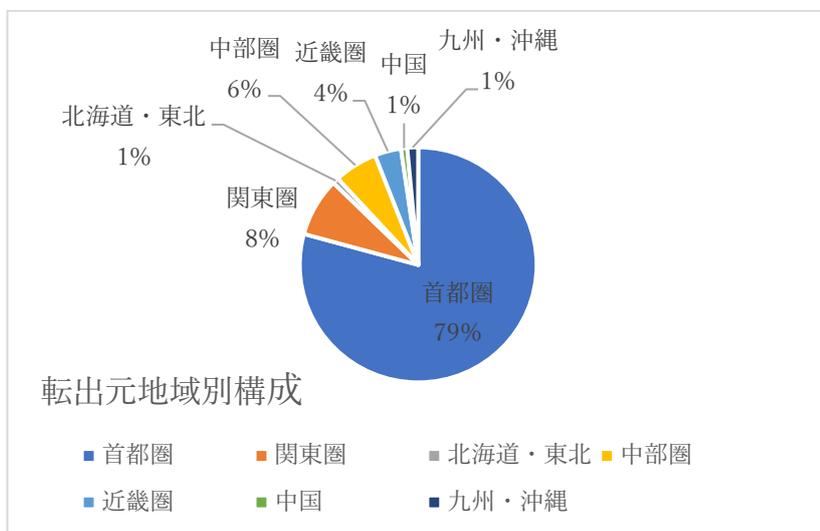
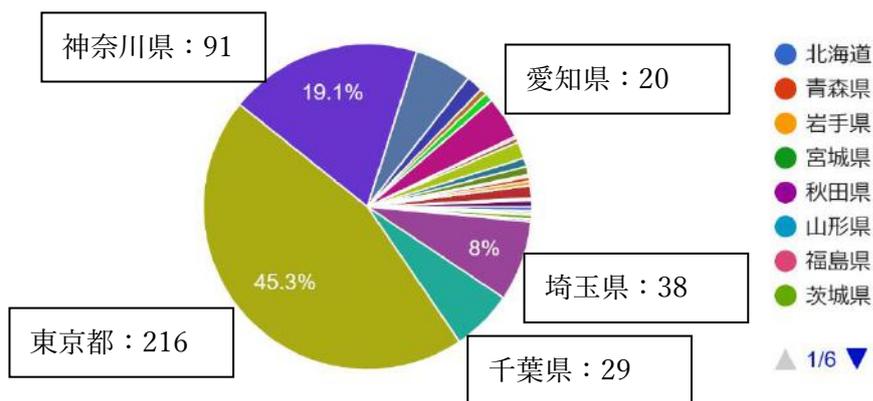
* 居住年数が10年以内の人が比較的に少ない

* 20年以上暮らしている人が多くいるが、15～20年居住している人が少なく、空白期間がある

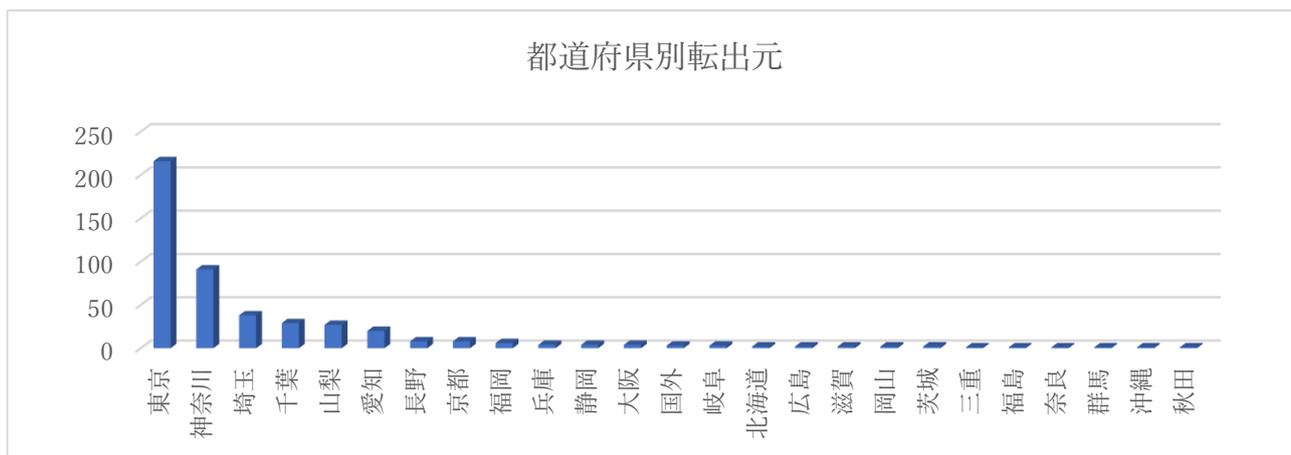
* 居住年数の短い層にふるさと倶楽部会員が少ない傾向がある

A-6. 八ヶ岳に住む前はどこに住んでいましたか (都道府県でお答えください)

477 件の回答



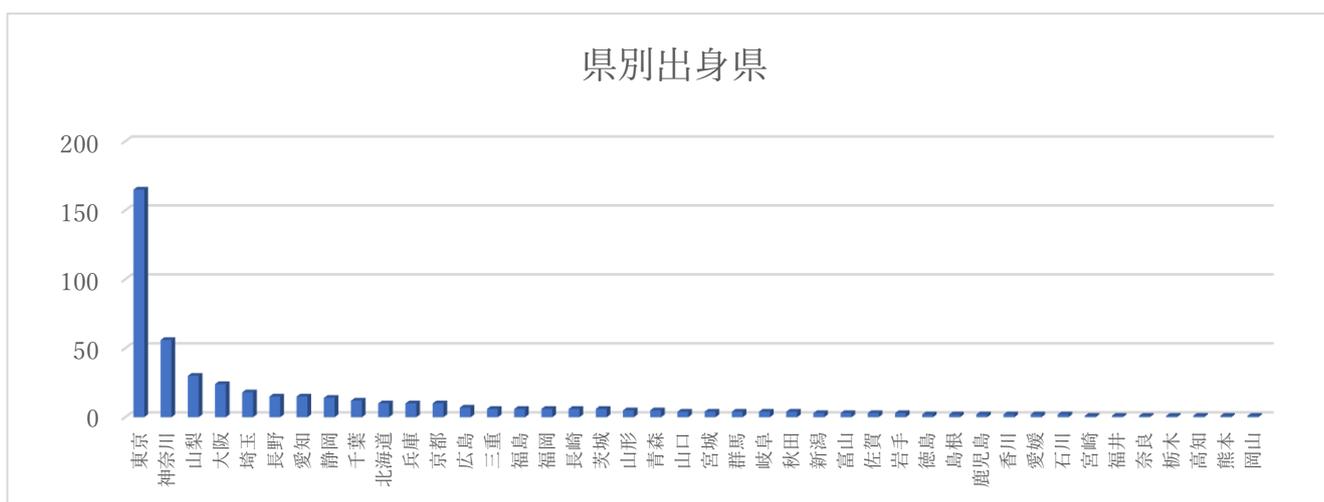
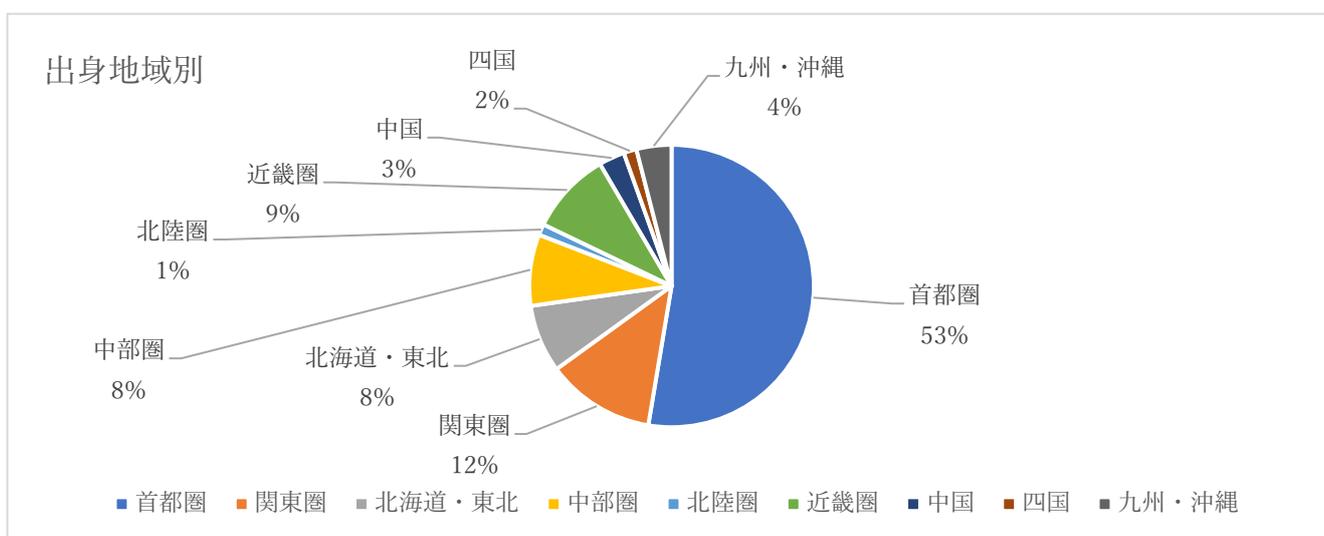
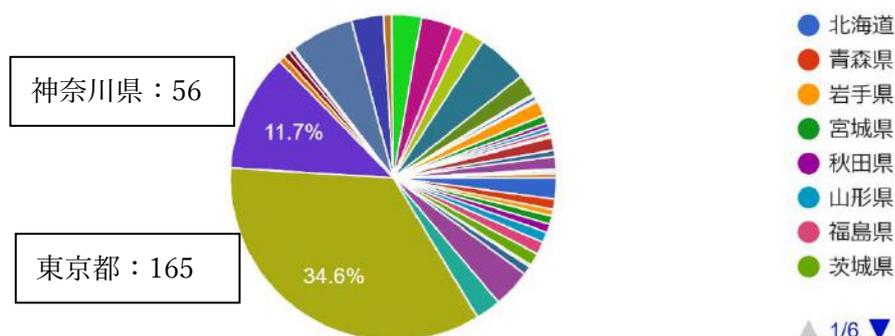
首都圏	東京・神奈川・埼玉・千葉
関東圏	茨木・群馬・長野・山梨
北海道・東北	北海道・福島・秋田
中部圏	愛知・岐阜・三重・静岡
近畿圏	滋賀・大阪・京都・奈良・兵庫
中国	岡山・広島
九州・沖縄	福岡・沖縄・海外



- * 首都圏（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県）からの移住が80%近い
- * 次に多い中部圏でも6%と大きく引き離している。
- * 中部圏と近畿圏を合わせても10%
- * 未回答を（山梨県）としたため山梨県の回答数が多くなっている

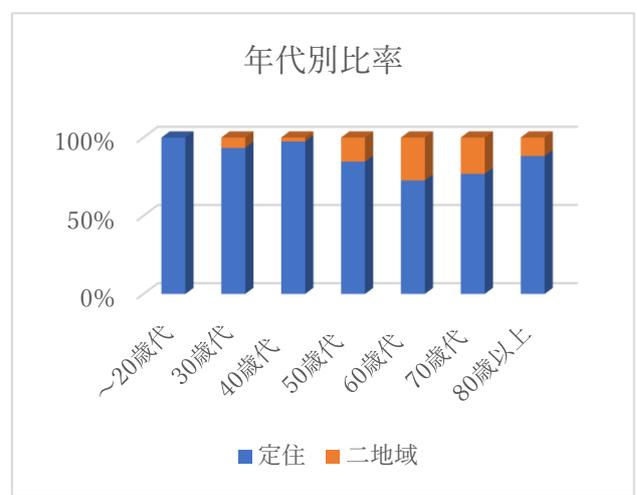
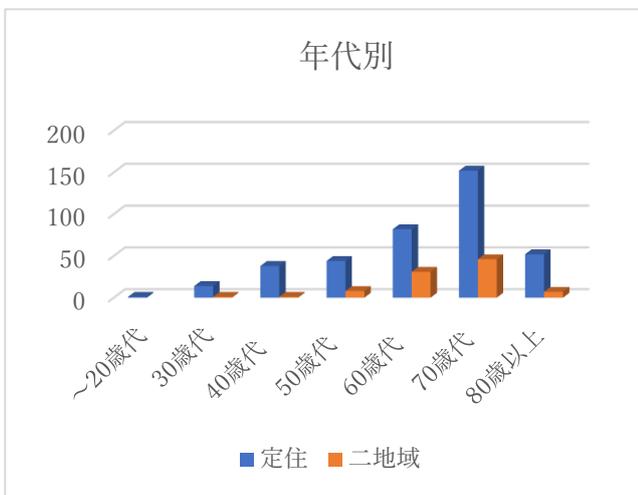
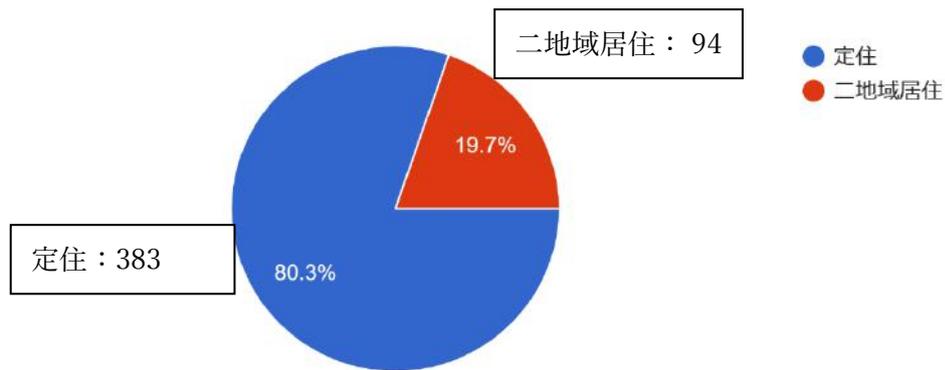
A-7. 子供の頃を過ごしたのはどこですか

477件の回答



- * 幼少期を過ごした地域は全国的に分散し 42 の都府県にわたっている
- * いろいろな地域で幼少期を過ごした人たちが集まってきている
- * 子どもの頃から首都圏（主に、東京都、神奈川県）で育ってきた人が多い
- * 未回答を（山梨県）としたため山梨県の回答数が多い

A-8. 現在の住まいのスタイルは
477件の回答

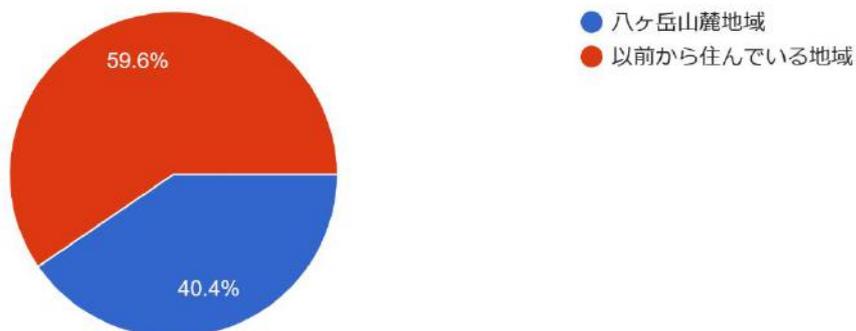


- * 30歳代、40歳代での二地域暮らしでは相対的に少なく、定住での移住が主流となっている
- * 80歳以上でも二地域で暮らす人がいる
- * 80歳代になり二地域居住の割合が低くなるのは、二地域を移動することが難しくなる事が要因とも考えられる

◆ A-8. で 『二地域居住』 と回答した人のみ回答

暮らしの重点はどちらにありますか

94 件の回答

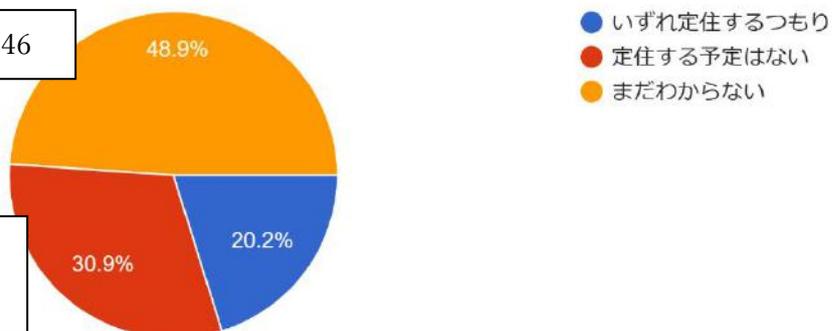


- * 以前から暮らしている地域に重点を置く人がほぼ 6 割
- * 二地域暮らしの人は別荘的な暮らし方がまだまだ主流
- * 反面、八ヶ岳山麓での暮らしをメインとする生活スタイルの人が 4 割にのぼる
- * 別荘としての利用から、生活の基盤を八ヶ岳山麓に移し、必要な時に都会に出かけるライフスタイルの居住者も多くいる

八ヶ岳山麓に定住する予定はありますか

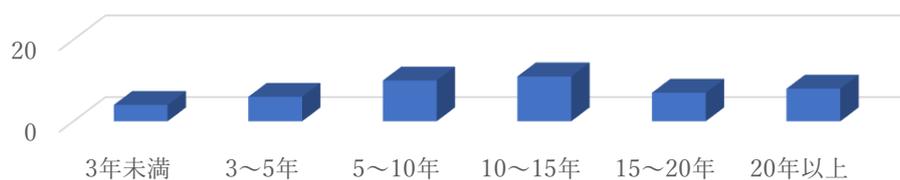
94 件の回答

まだわからない：46



定住する予定はない
： 29

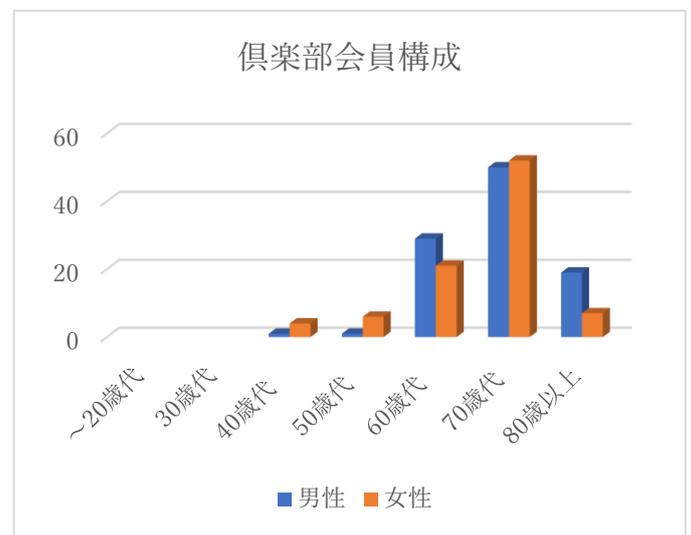
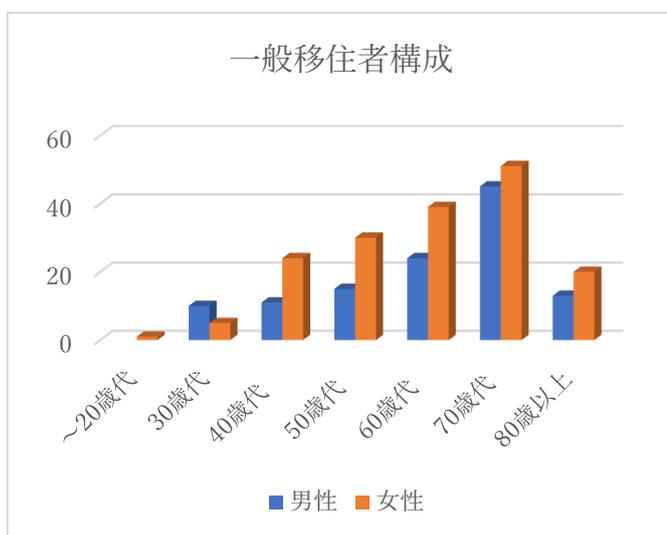
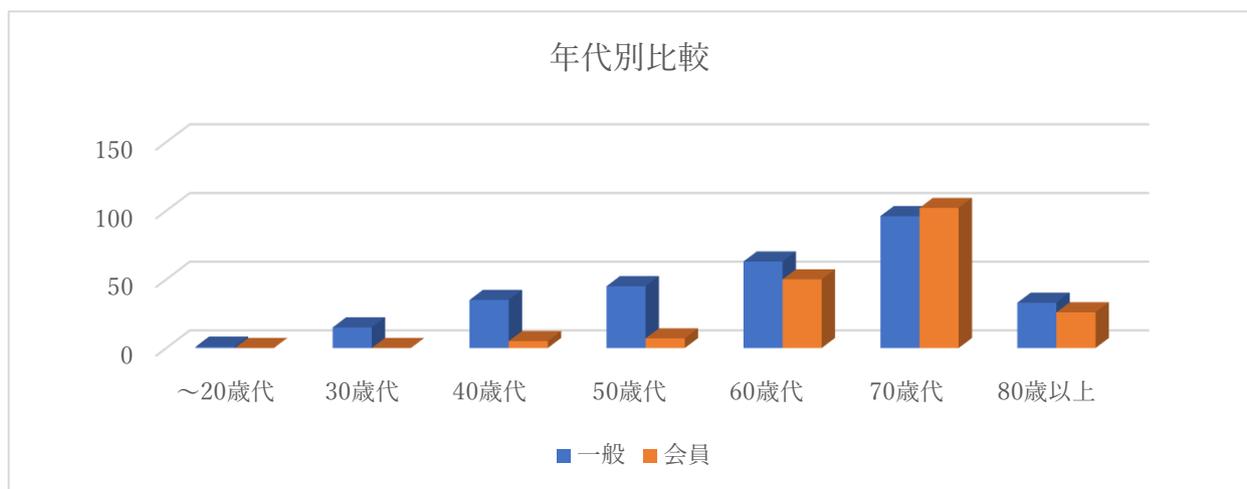
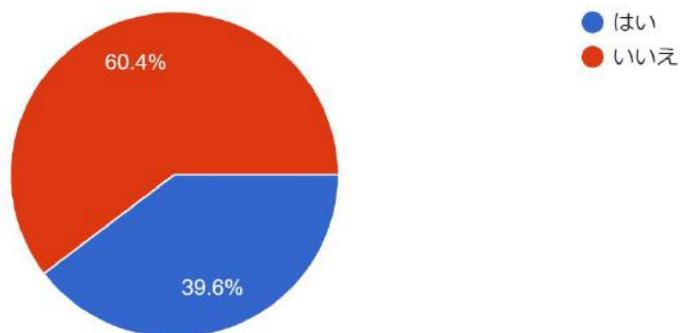
『まだわからない』との回答者の居住年数



- * 「定住する予定はない」とする人が思いのほか多い
- * 居住年数が 20 年を超えている人でも『まだわからない』と回答している人がいる

A-9. ふるさと倶楽部の会員ですか

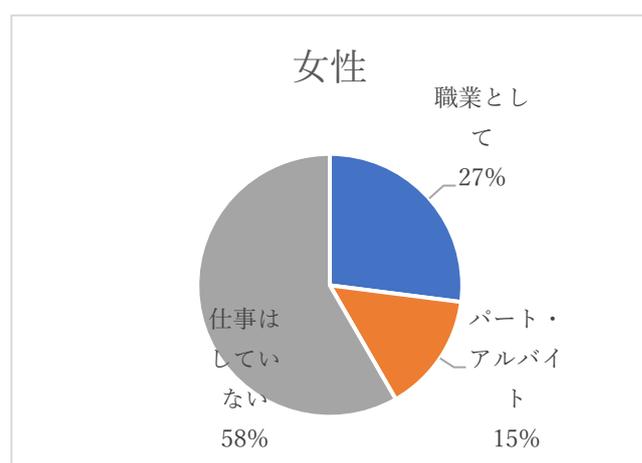
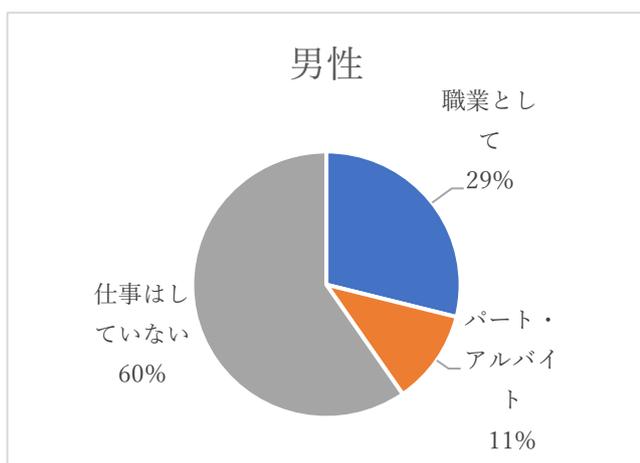
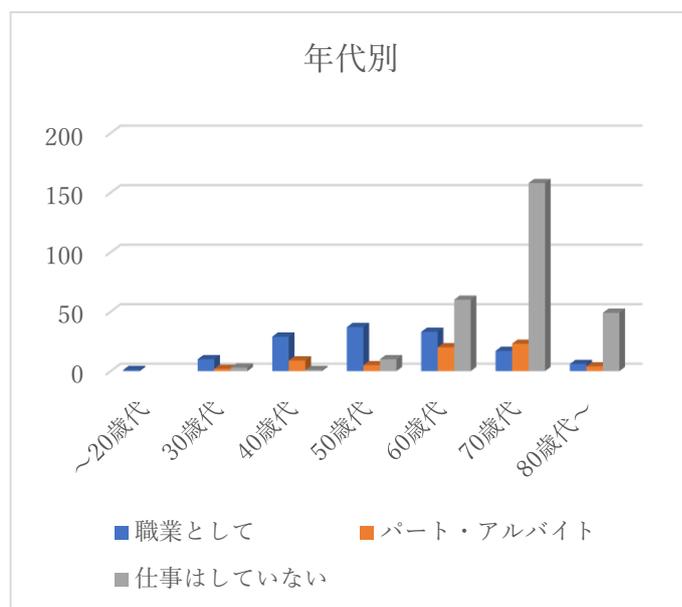
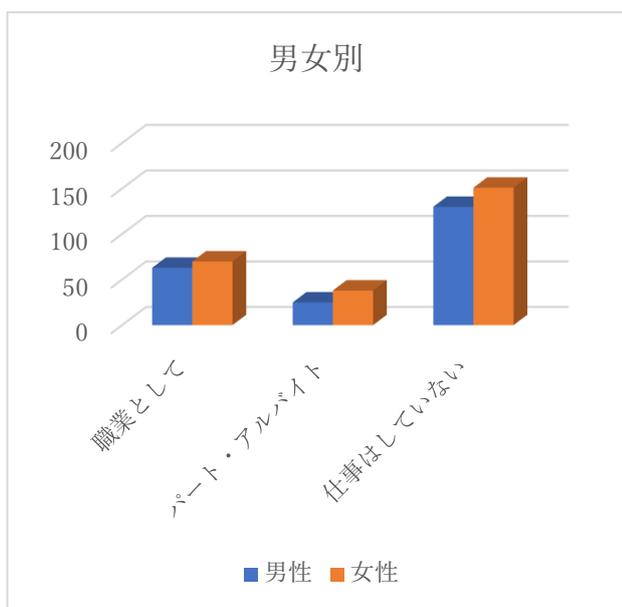
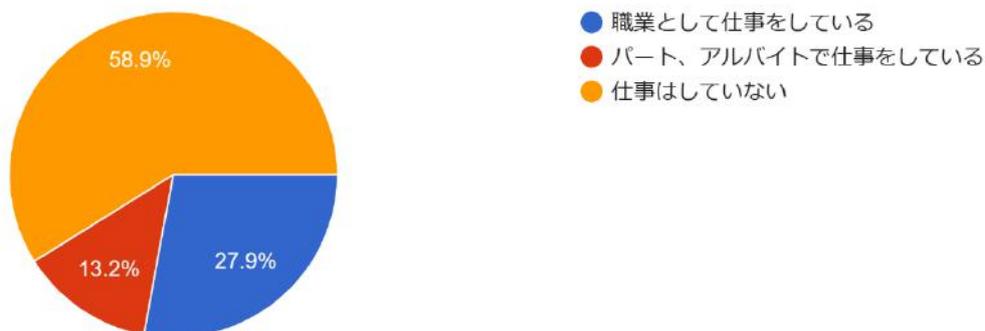
477 件の回答



* 30歳代から50歳代でふるさと倶楽部会員の割合が少ない

* 男女別でみると、60歳代、70歳代、80歳代のふるさと倶楽部会員は男性比率が高く一般移住者の傾向と異なる

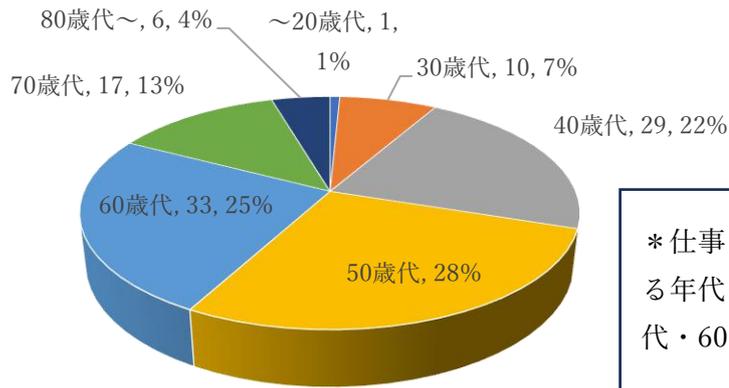
A-10. 八ヶ岳山麓地域で収入を得る仕事をしていますか
477件の回答



* 仕事をしているひとの多くは60歳代より若い人たち
 * 60歳代以上の人たちは仕事をしていない人が増える
 * 男性・女性で仕事をしている／していないの傾向はほぼ同様で、男女で大きな違いはない

◆就業形態別の年代構成

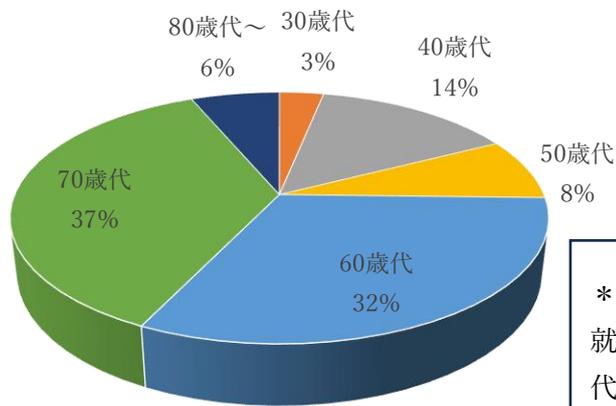
* 職業として



* 仕事として就業している年代は40歳代、50歳代・60歳代が主体

■ ~20歳代 ■ 30歳代 ■ 40歳代 ■ 50歳代 ■ 60歳代 ■ 70歳代 ■ 80歳代~

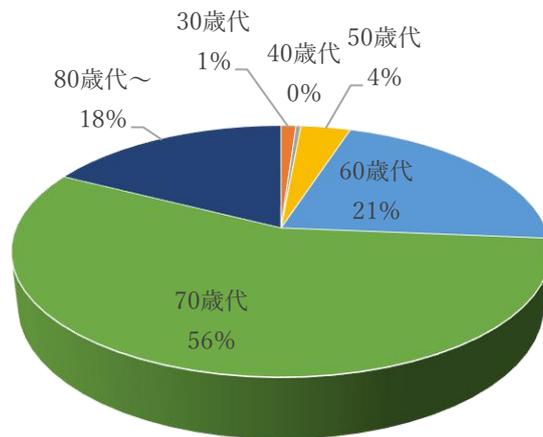
* パート・アルバイト



* パート・アルバイトで就業している年代は60歳代・70歳代が中心

■ ~20歳代 ■ 30歳代 ■ 40歳代 ■ 50歳代 ■ 60歳代 ■ 70歳代 ■ 80歳代~

* 仕事はしていない



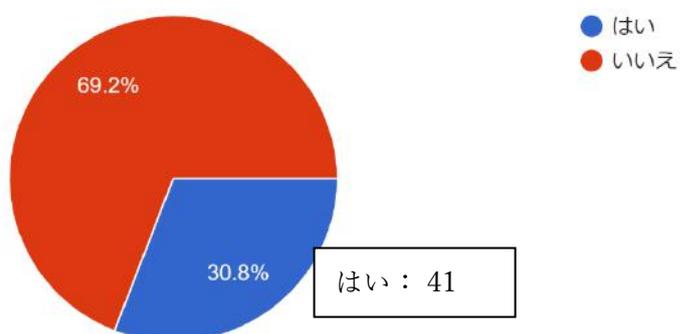
* 50歳代以下の人で仕事をしていない人はごく少数

■ ~20歳代 ■ 30歳代 ■ 40歳代 ■ 50歳代 ■ 60歳代 ■ 70歳代 ■ 80歳代~

◆ 職業として仕事に従事している人のみ回答

リモートツールを使用して仕事していますか

133 件の回答

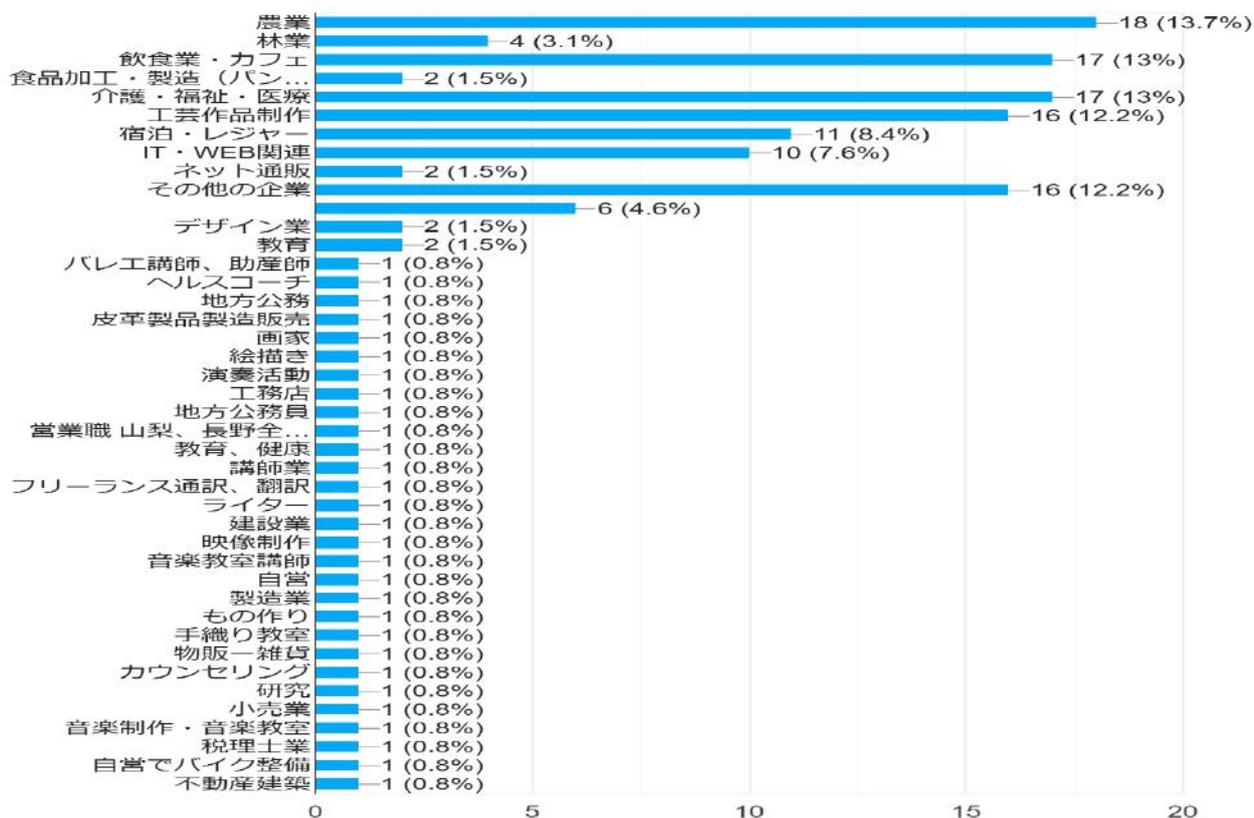


- * リモートツールを使用して仕事をしている人があまり多くない
- * 次の従事している仕事の内容からわかるが、IT・WEB 関連の仕事に従事している人よりも、農業など地元での仕事に従事している人が多いことも要因と思われる

◆ 職業として仕事に従事している人の業種

従事している仕事はどのようなものですか (いくつでも)

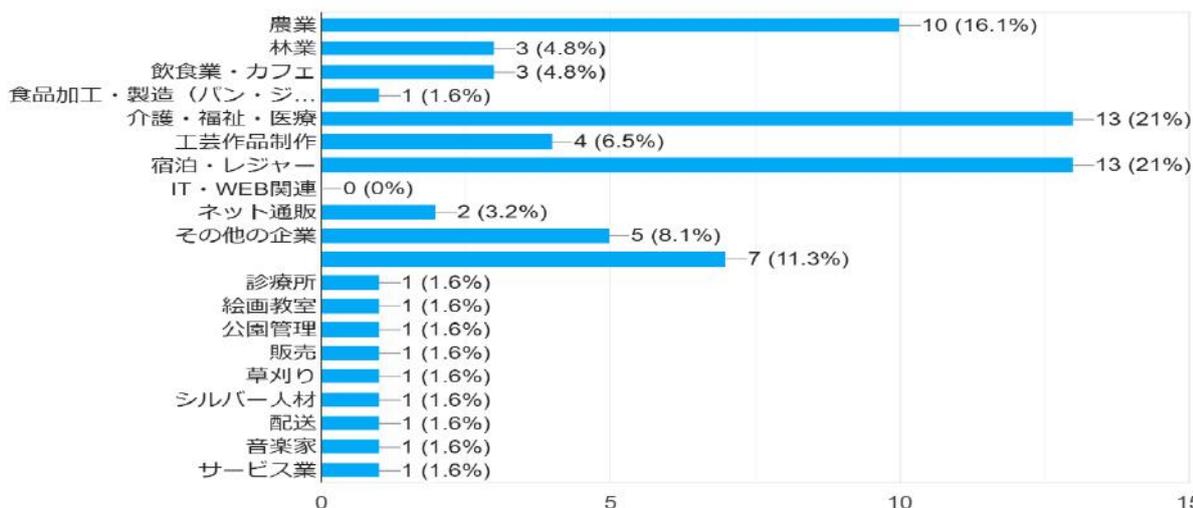
131 件の回答



◆ パート・アルバイトで仕事に従事している人の業種

従事している仕事はどのようなものですか (いくつでも)

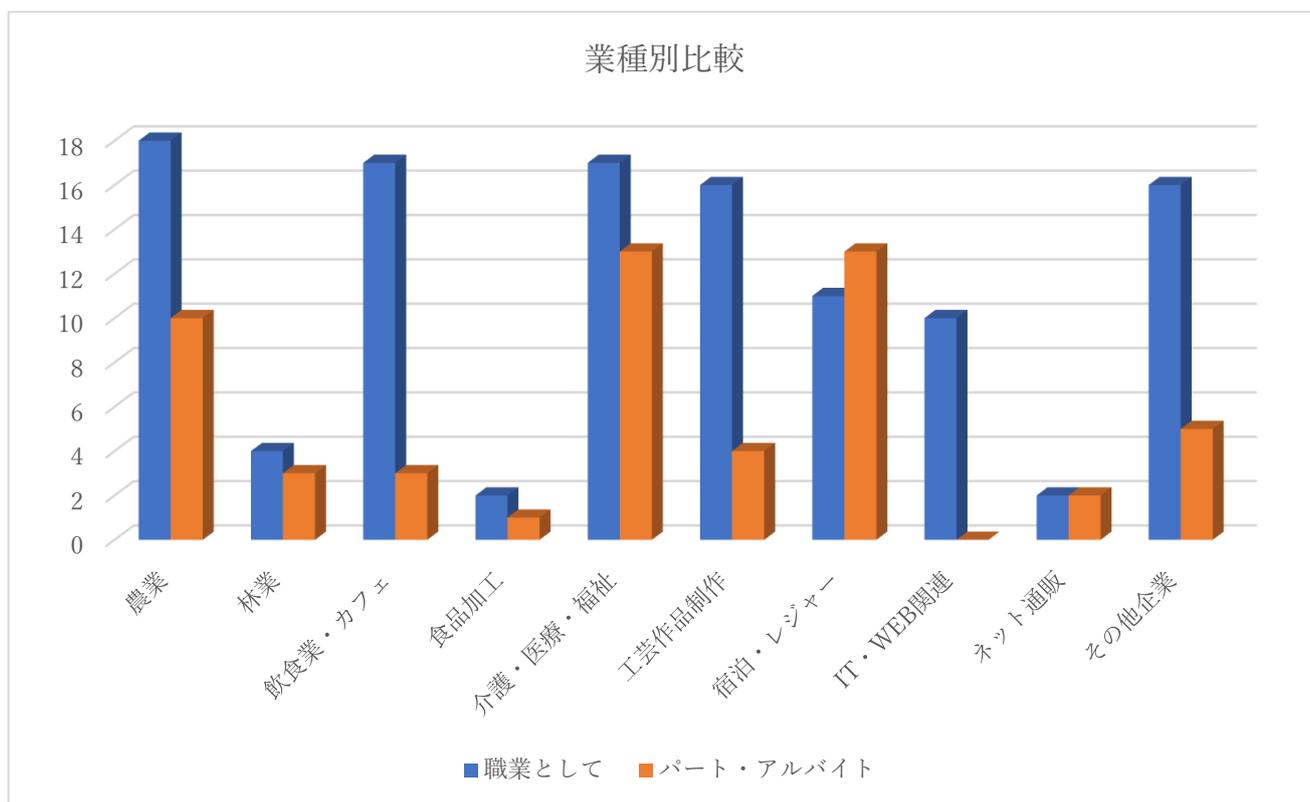
62 件の回答



* 想定以外にも多種多様な仕事にたずさわっている人がいる

* 職業として仕事に従事している人と、パート・アルバイトで仕事をしている人とで就業している業種が異なる

◆ 業種別に就業形態を比較

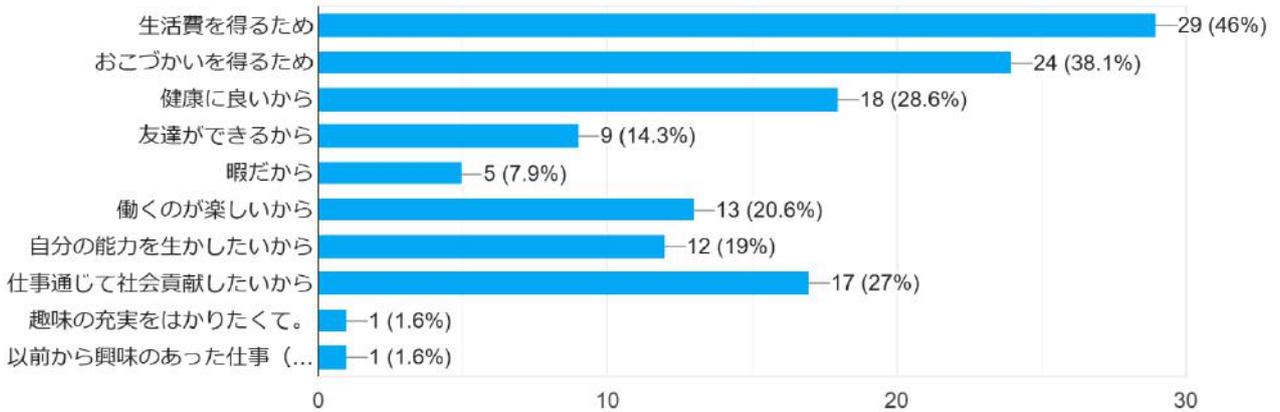


* 専業で仕事している人は、農業、飲食、介護、工芸、企業に属する仕事に従事する人が多い
 * パート・アルバイトで仕事に従事する人は、介護、宿泊、農業に関する仕事が多い

◆ パート・アルバイトで仕事に従事している人の目的

仕事をしている主な理由は何ですか（いくつでも）

63件の回答

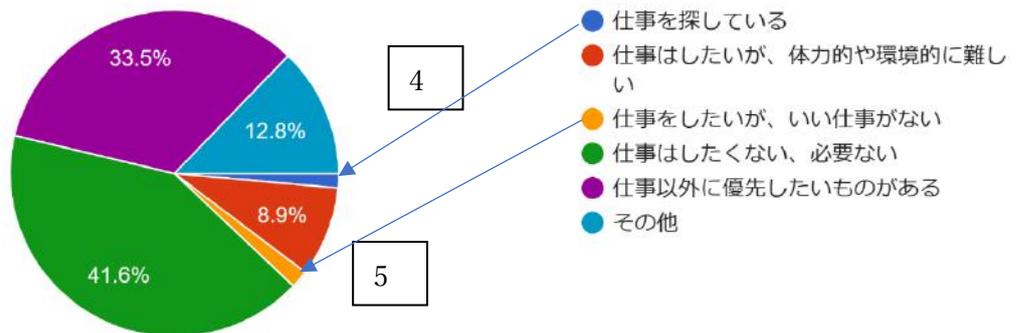


- * 生活費、おこづかいなど、収入を得るために仕事に従事する理由が多い
- * 健康のため、社会貢献、といった賃金得るため以外の目的を理由とする人も多い
- * 楽しい、自分の能力を活かしたいといった、自分の生きがいとして仕事をしている

◆ 仕事をしていない人のこれから

これから仕事をしたいと思いますか（最もあてはまるもの）

281件の回答

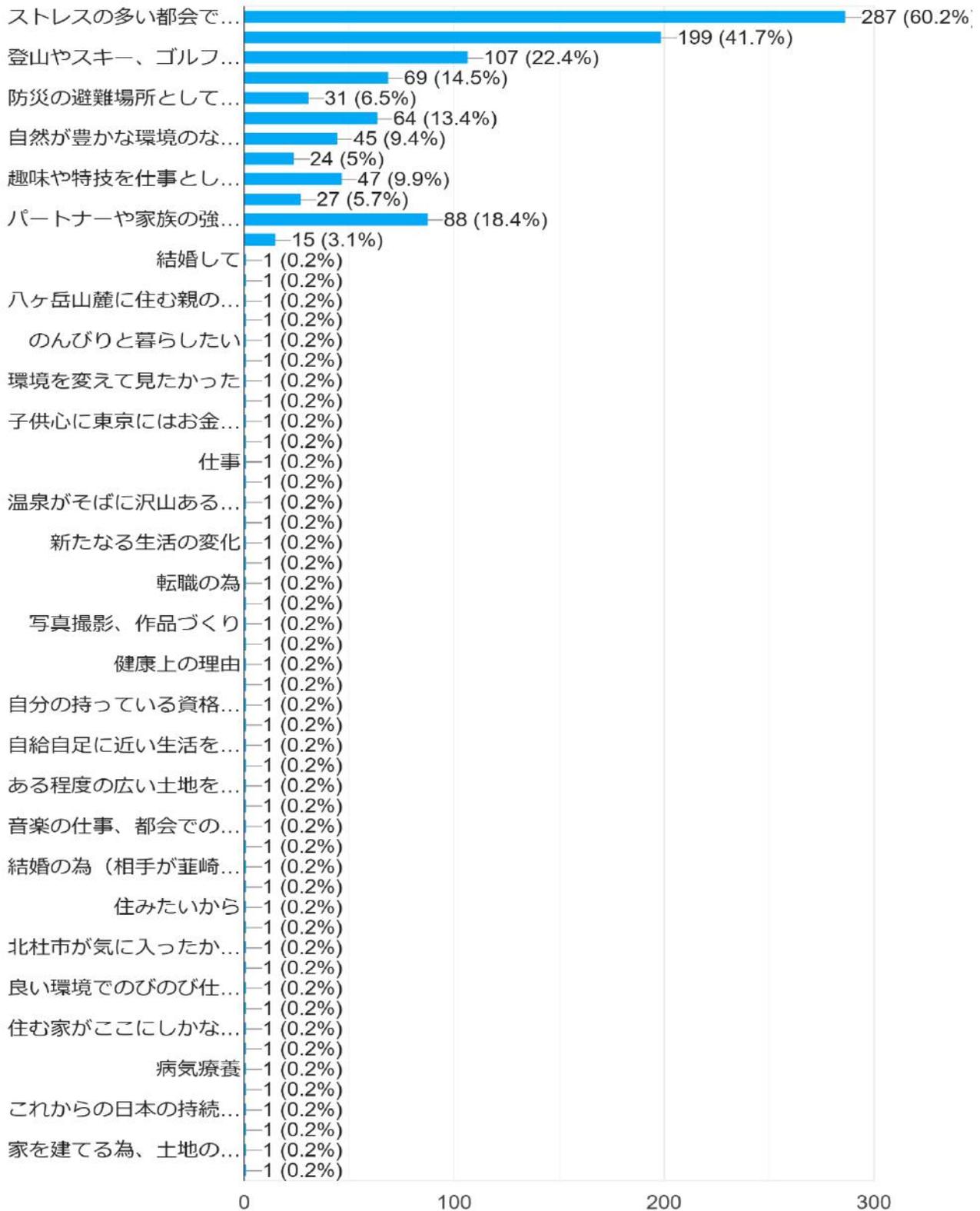


- * 75%以上の方は、「したくない」「必要ない」「他に優先したいものがある」としている
- * 「仕事を探している」、および「いい仕事がない」の回答は非常に少ない

【問 B. 田舎暮らしについて】

B-1. 都会から田舎に移り住もうと思った理由は何ですか (いくつでも)

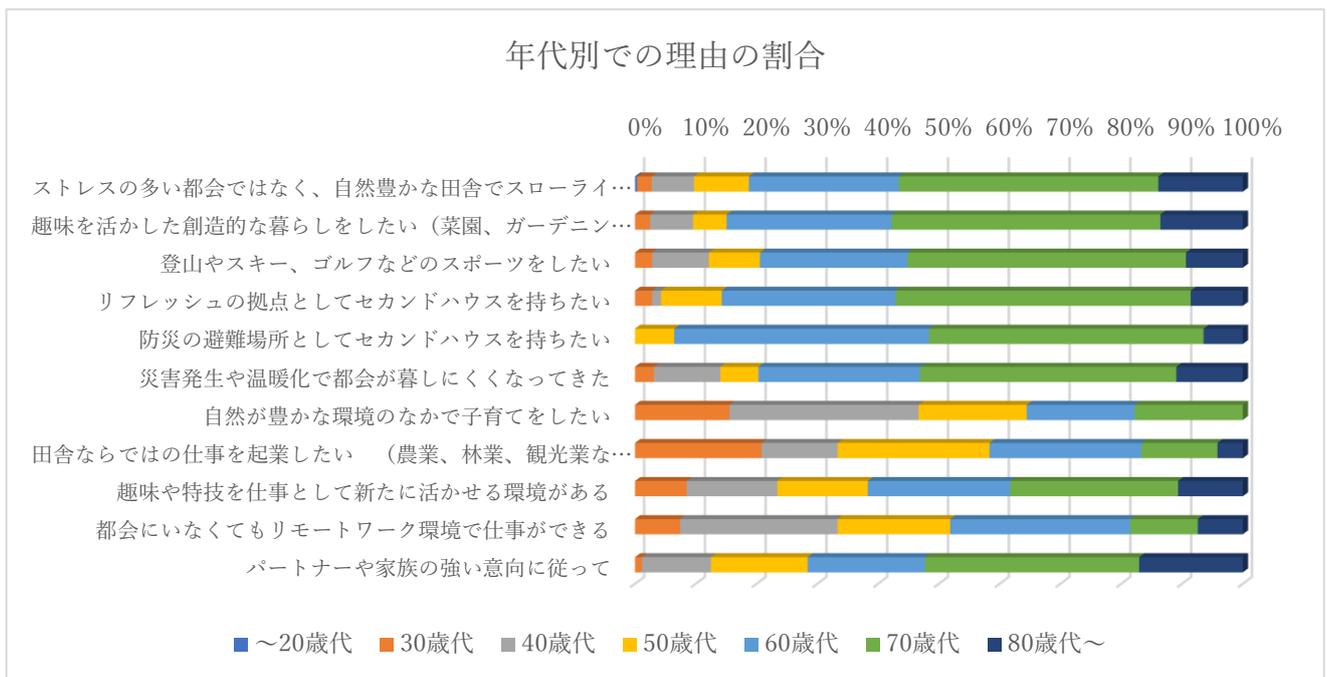
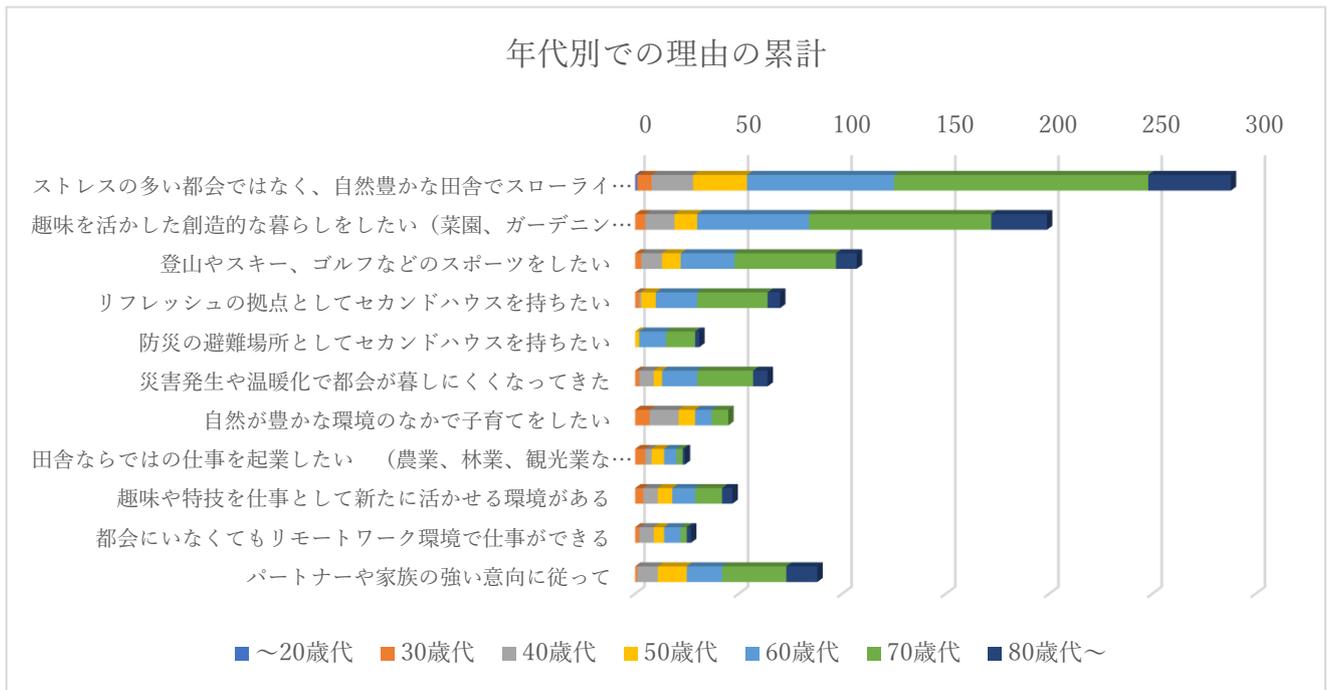
477 件の回答



* 田舎での暮らしを検討する理由は想定以上に多岐にわたる

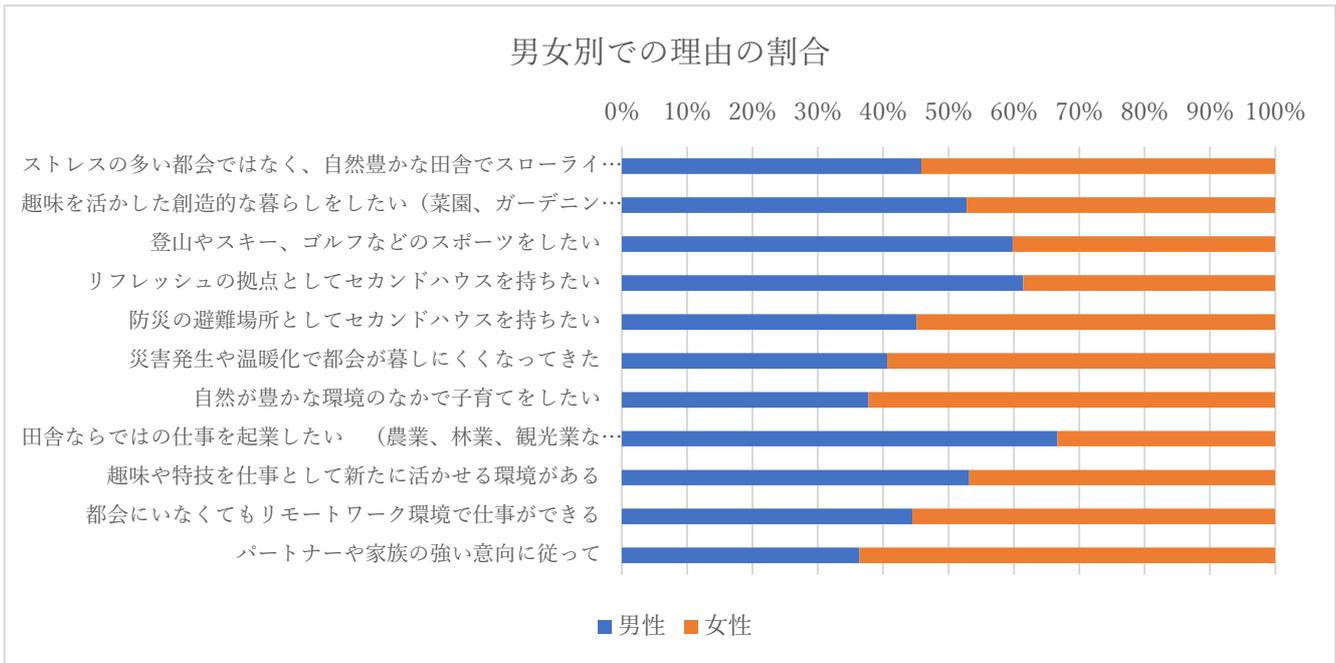
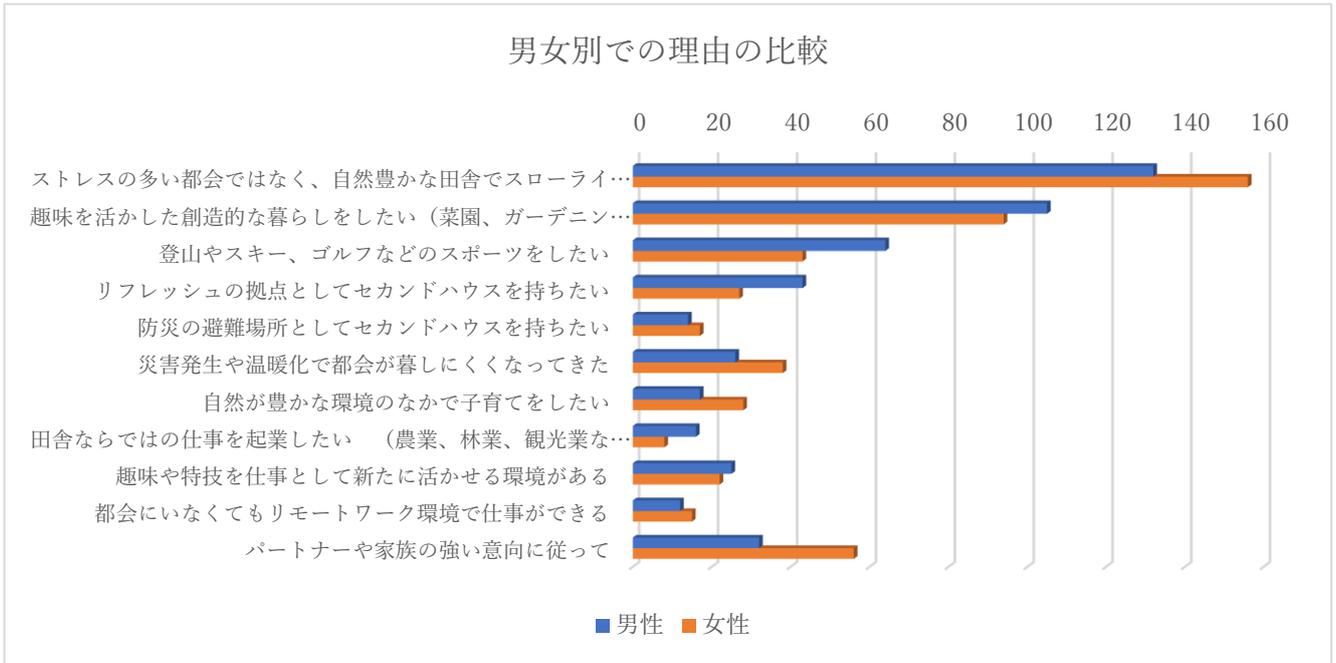
* 60%以上の方が都会でのストレスを理由に挙げ、多くの人が田舎暮らしにスローライフを求める

◆田舎暮らしの理由を年代別に比較



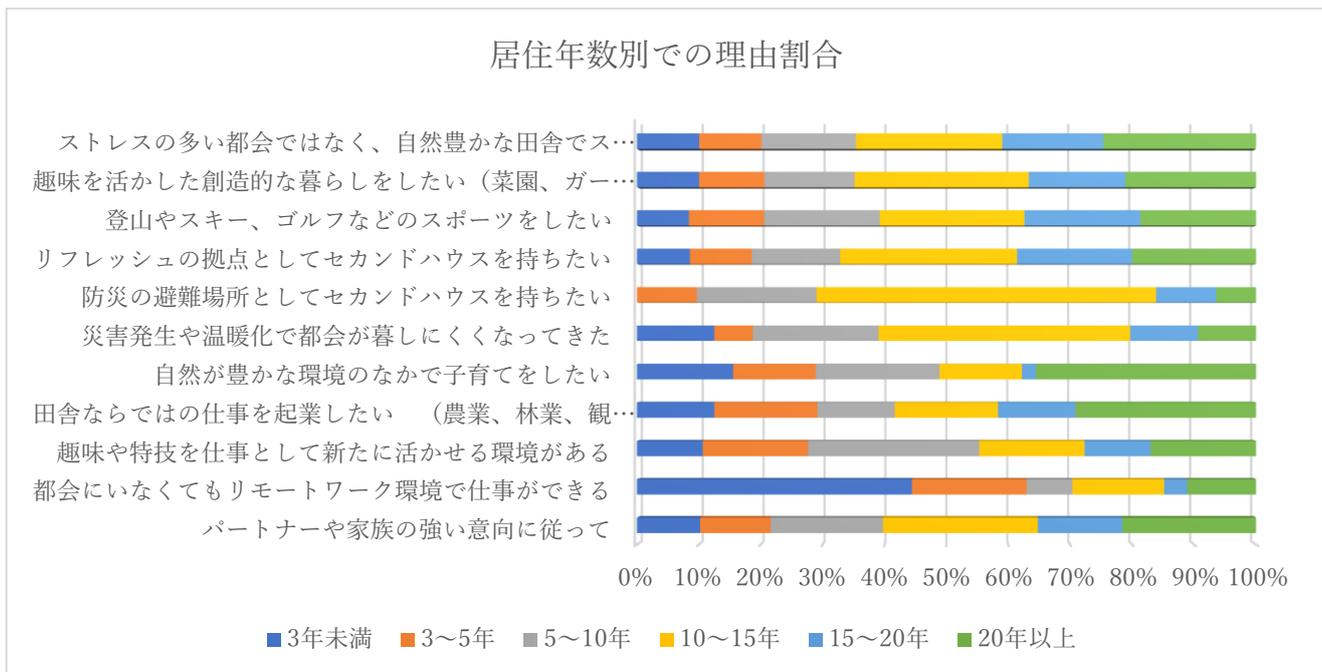
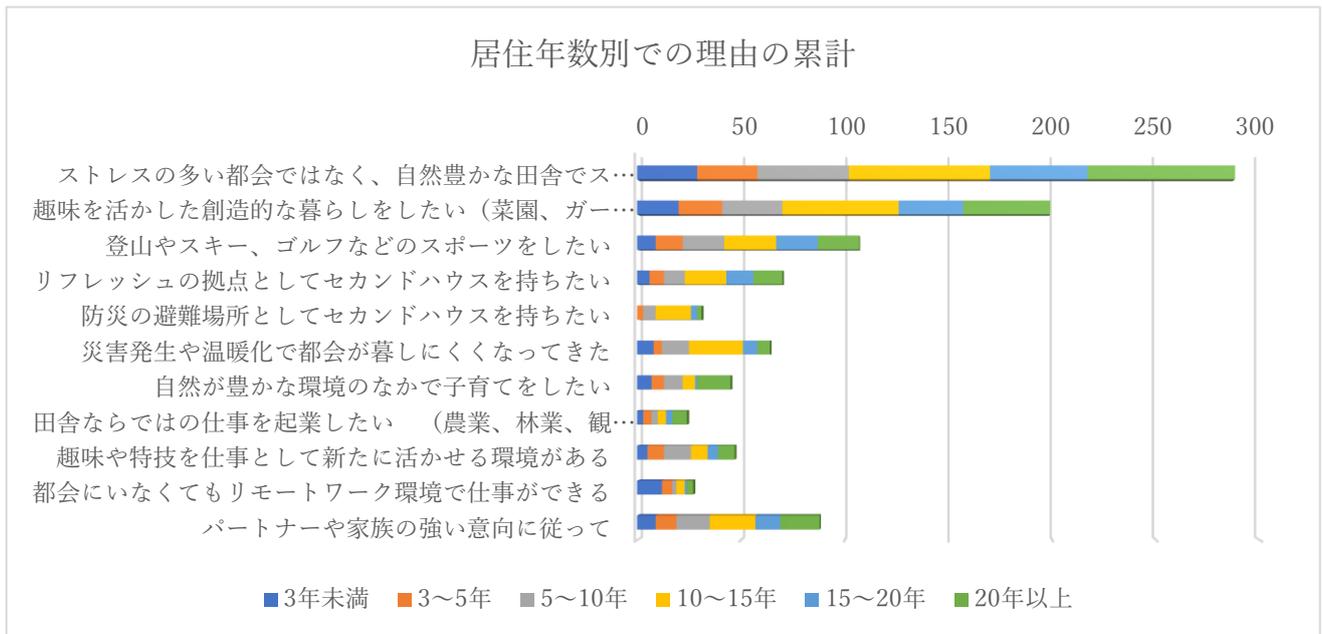
- * 「子育て」「起業」「リモートワーク」を理由とする年齢構成は他の理由と異なり若い年代層の比率が高くなる
- * 高齢層はスローライフや趣味を活かした暮らしを田舎暮らしに求める
- * 「パートナーの意向に従って」とする回答が思っていた以上に多い

◆田舎暮らしの理由を男女別に比較



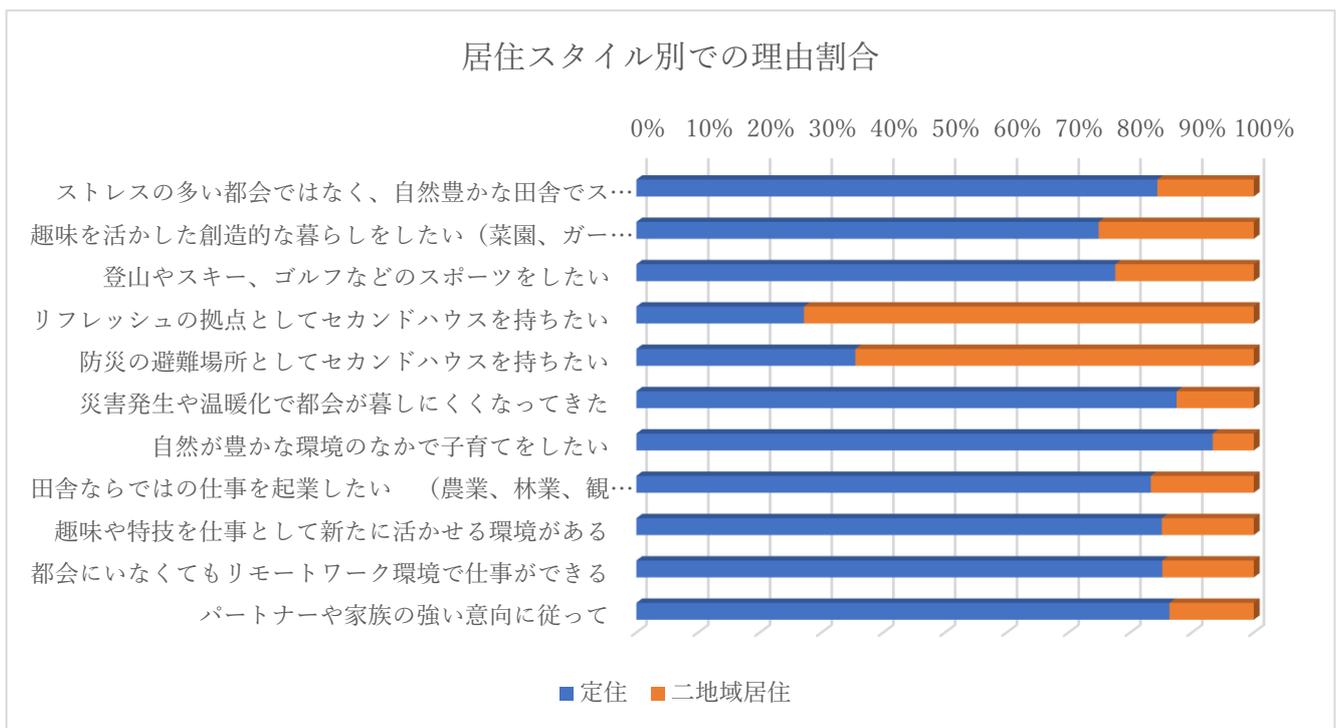
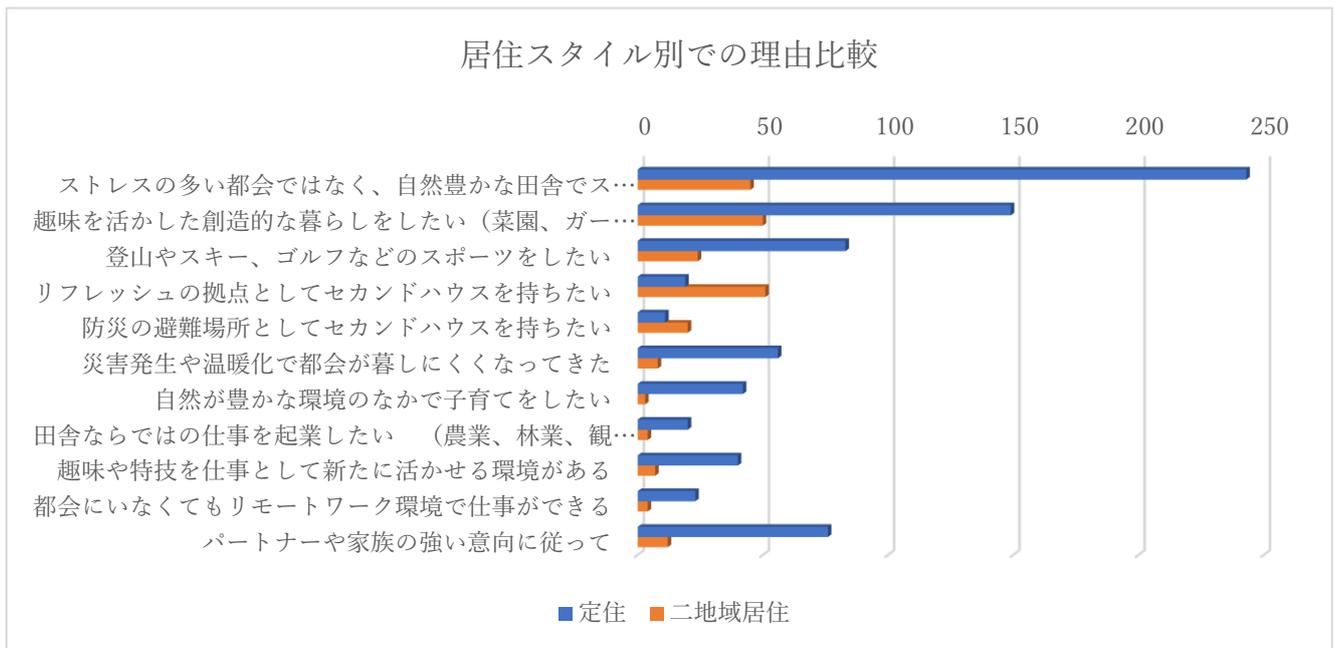
- * 起業を理由とする人の割合は男性が高い
- * 男性は「スポーツ」「リフレッシュの拠点」の割合が高い
- * 女性は「子育て」「温暖化対策」「防災からの避難場所」を理由とあげる割合が高い
- * 「パートナーの意向に従って」を理由に挙げる女性は男性を上回る、夫唱婦随？

◆田舎暮らしの理由を居住年数別に比較



- * 「防災の避難場所として」「災害発生や温暖化で」を理由に挙げたひとが、居住年数10~15年の人に多い
- * 東日本大震災や温暖化が話題になり始めた時期が影響しているか?
- * 「リモートワーク環境」を理由に挙げる人が居住3年未満の人に多いことは、コロナ禍がもたらした影響か?

◆田舎暮らしの理由を居住スタイル別に比較

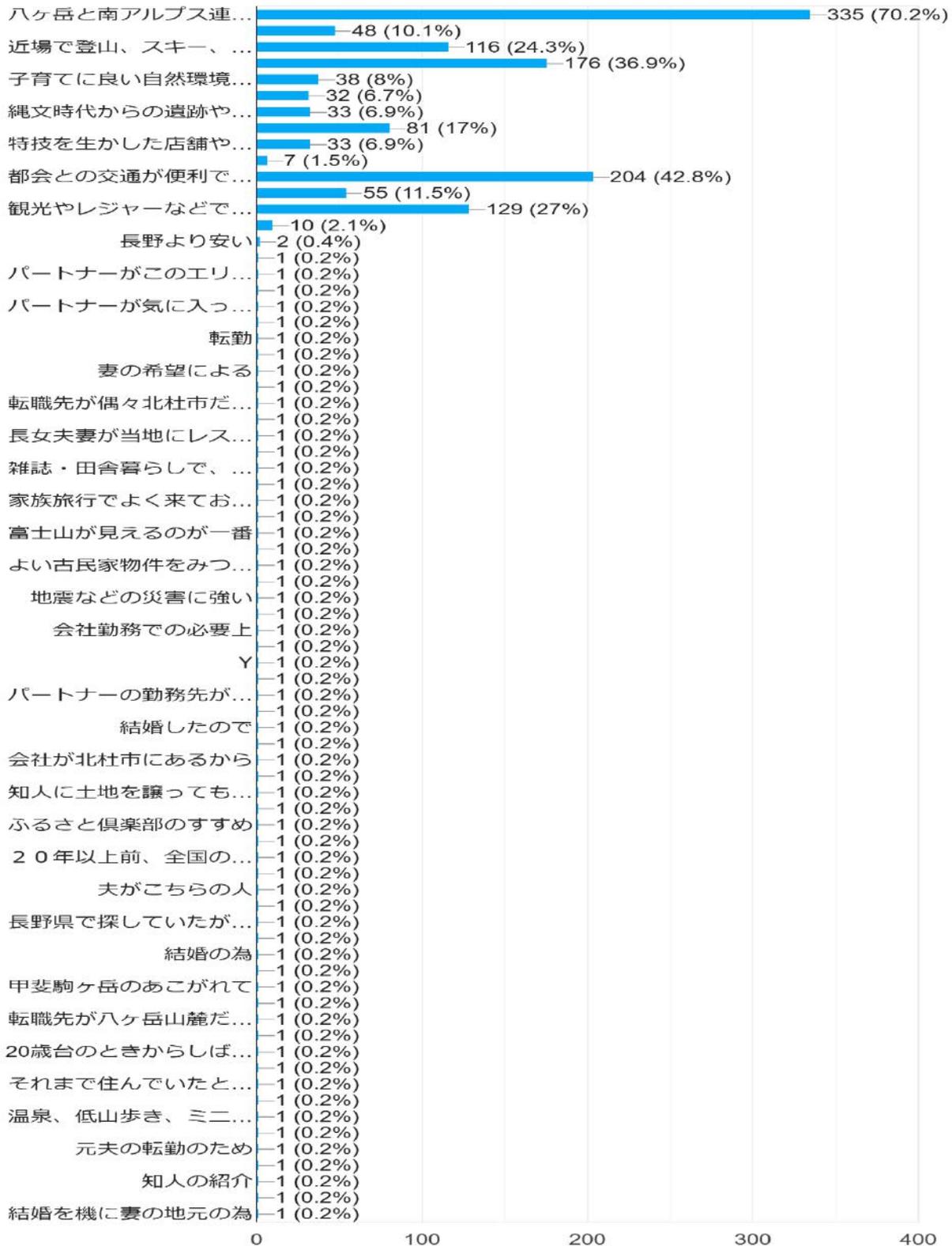


* 当然の結果として、「リフレッシュの拠点」にしても「防災の避難場所」としてもセカンドハウスとしての田舎暮らしを求める人は二地域暮らしの人の比率合が高い

* 「都会が暮らしにくくなった」「子育ての環境」を田舎暮らしの理由とする人は定住の割合が高い

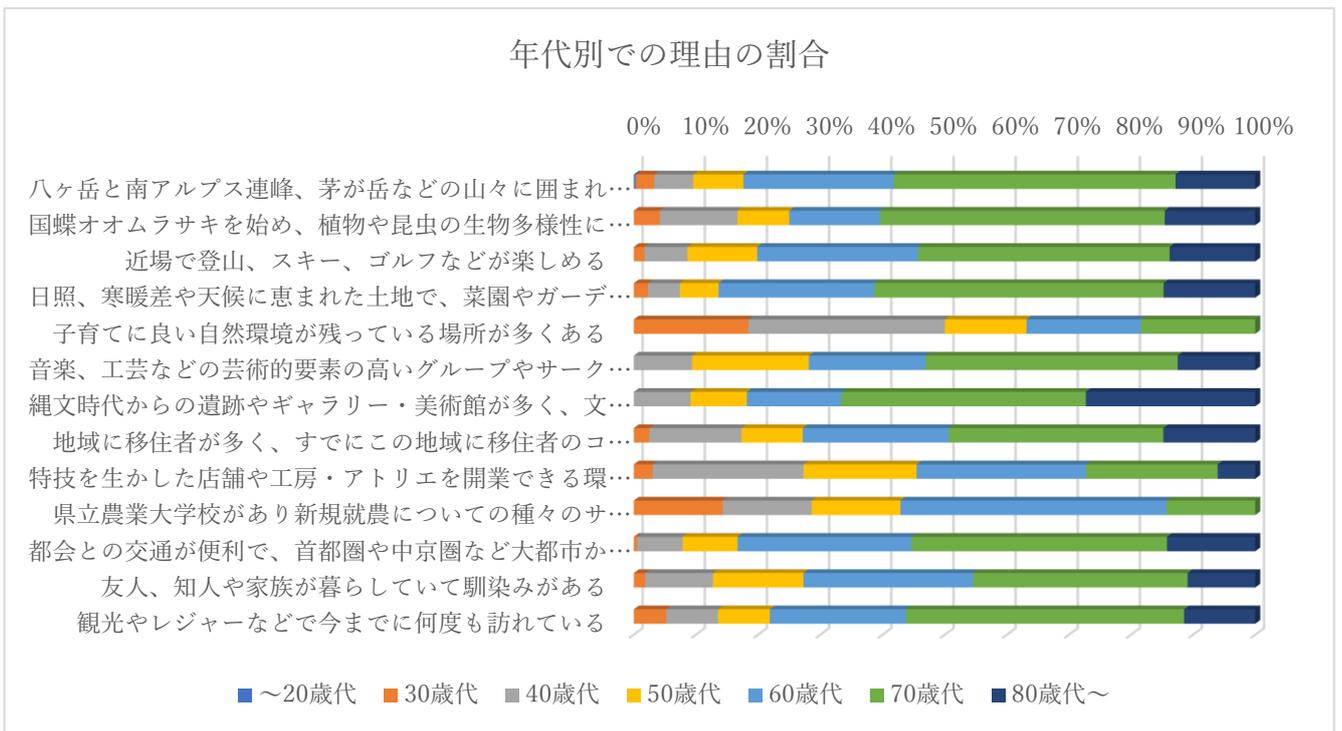
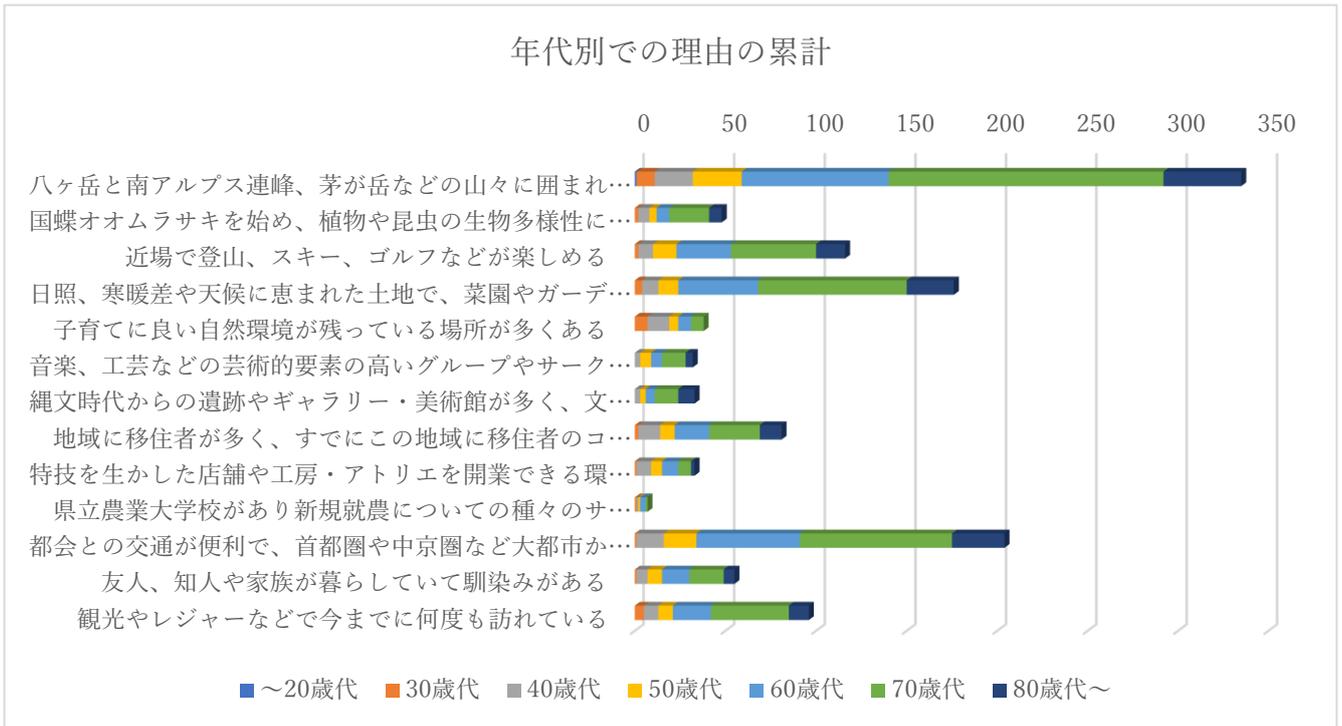
B-2. 移住先として八ヶ岳山麓を選んだ理由は何ですか (いくつでも)

477件の回答



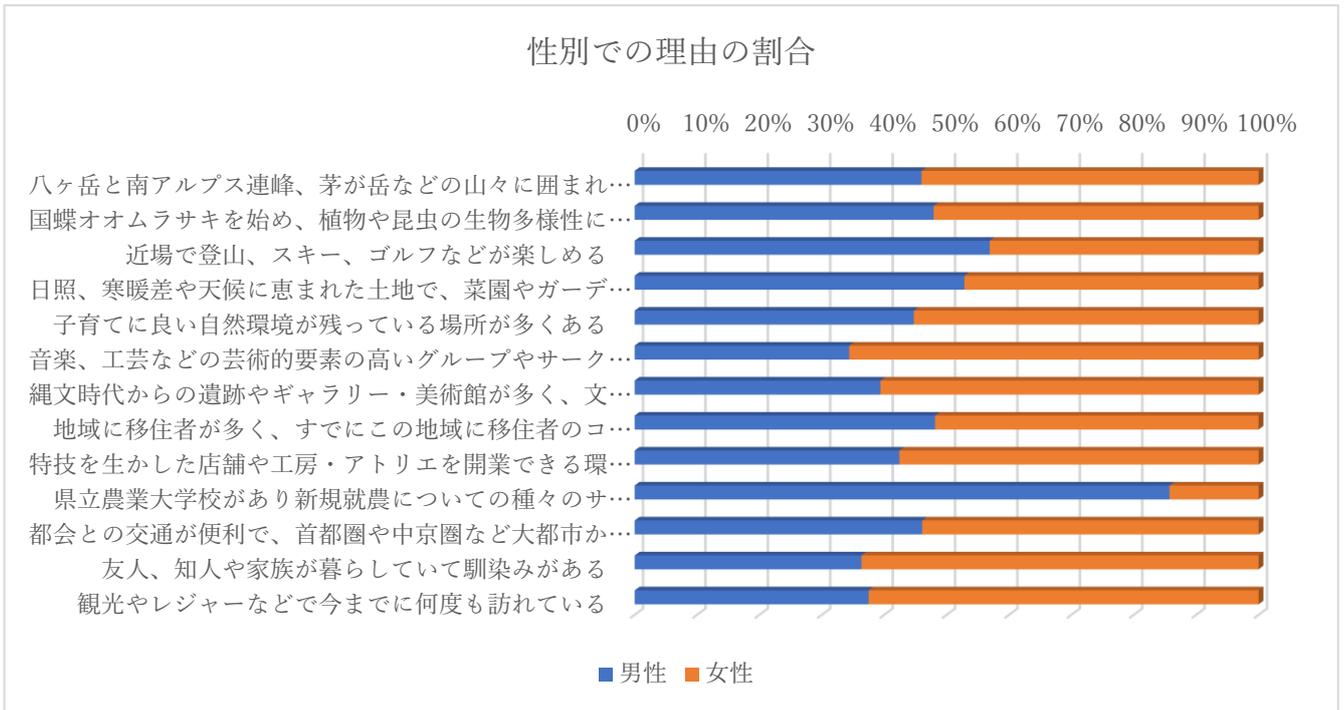
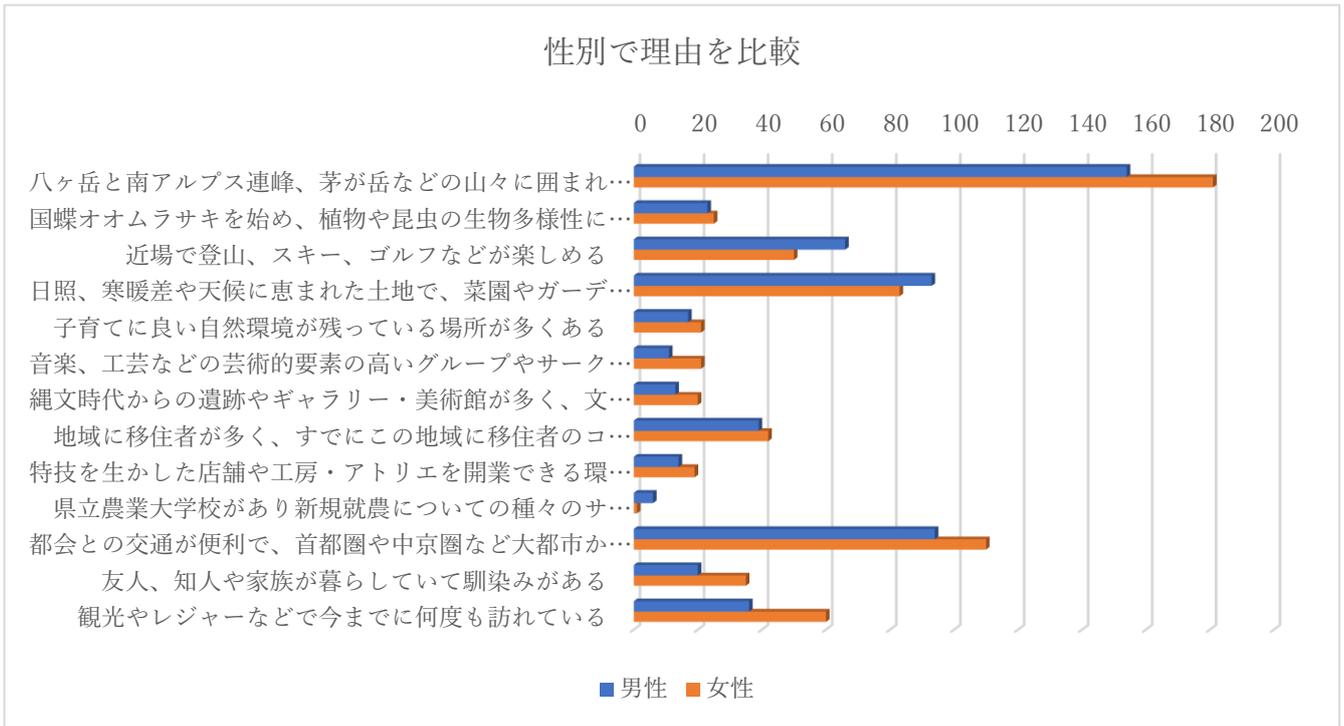
- * 八ヶ岳山麓を選択した理由として「山に囲まれた自然の景観」を挙げる人が70%にのぼる
- * 「都会からの交通の便」「菜園やガーデニング」「手軽にスポーツができる環境」を求める
- * 「何度か訪れたことがある」「移住者が多くいる」を理由に挙げる人も多い

◆八ヶ岳を選んだ理由を年代別に比較



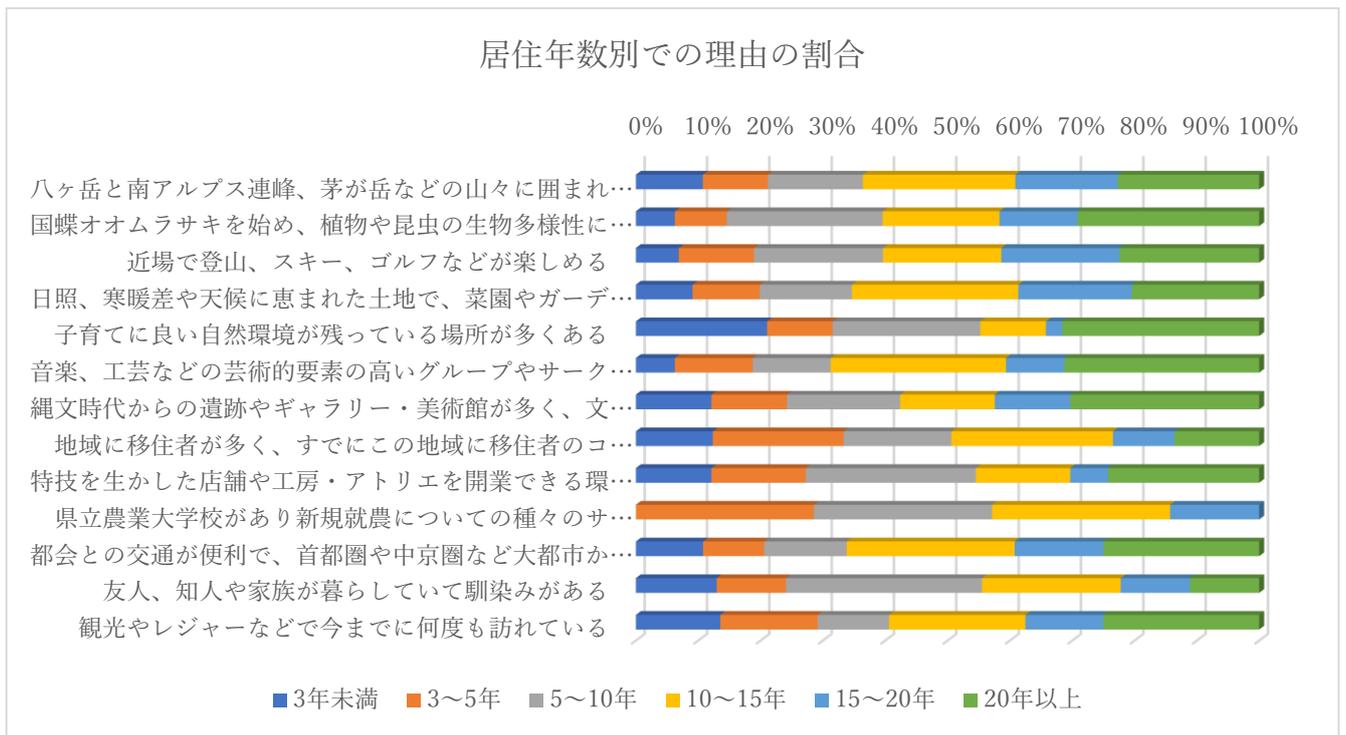
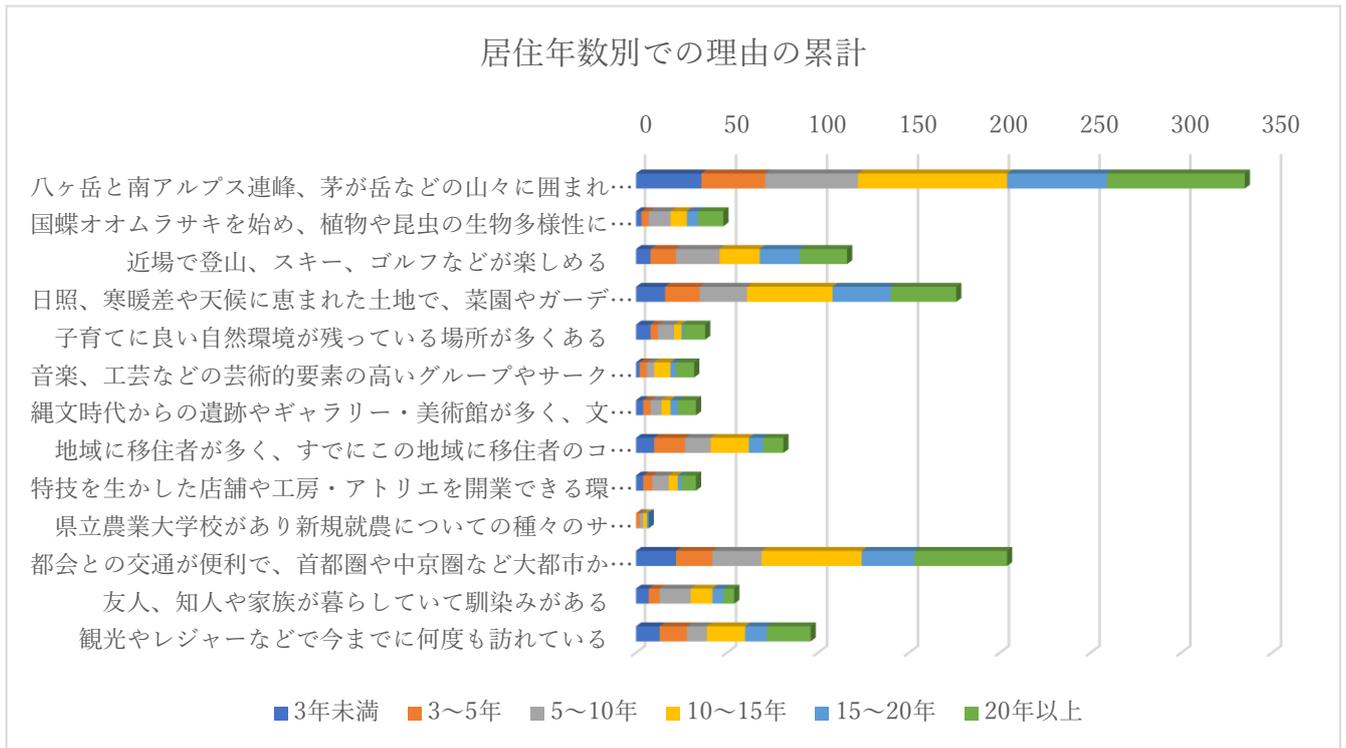
- * 「子育てによい環境」を挙げる人は30歳代、40歳代に多い
- * 「工房・アトリエを開業」を挙げる人は40歳代に多い
- * 「新規就農」を挙げる人は60歳代に多い
- * 年代により八ヶ岳山麓での暮らしの目的がはっきりしている

◆八ヶ岳を選んだ理由を性別に比較



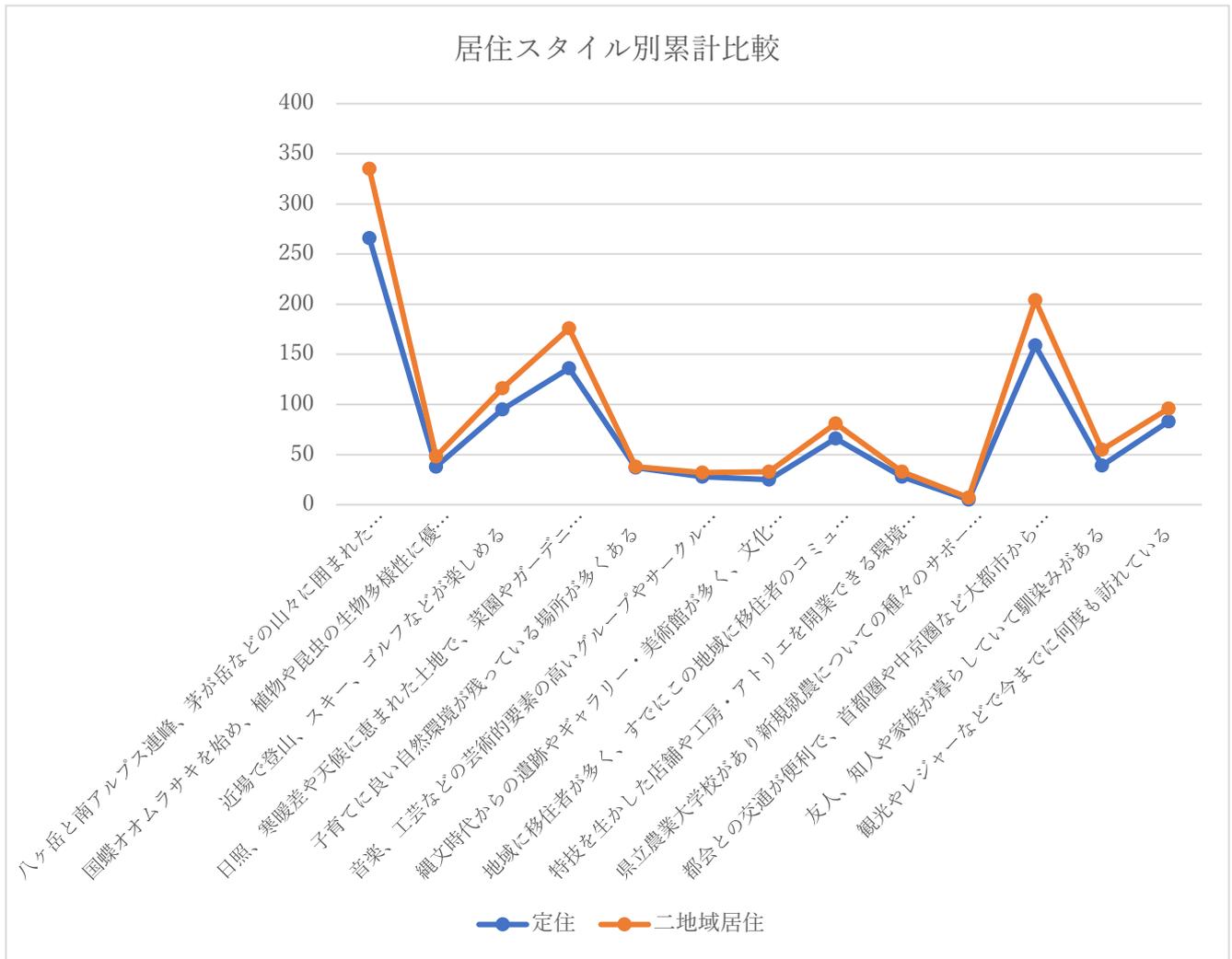
- * 「新規就農」を理由とする人は男性の比率が高い
- * それ以外には、男女であまり大きな違いは見られない

◆八ヶ岳を選んだ理由を居住年数別に比較



- * 3年未満の居住者で「農業大学校での農業実習」を理由とした人はいない
- * 全体数としても新規就農を理由とする人が少ない

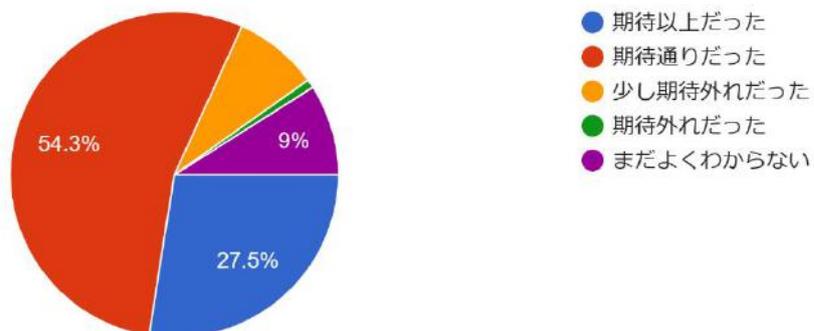
◆八ヶ岳を選んだ理由を居住スタイル別に比較



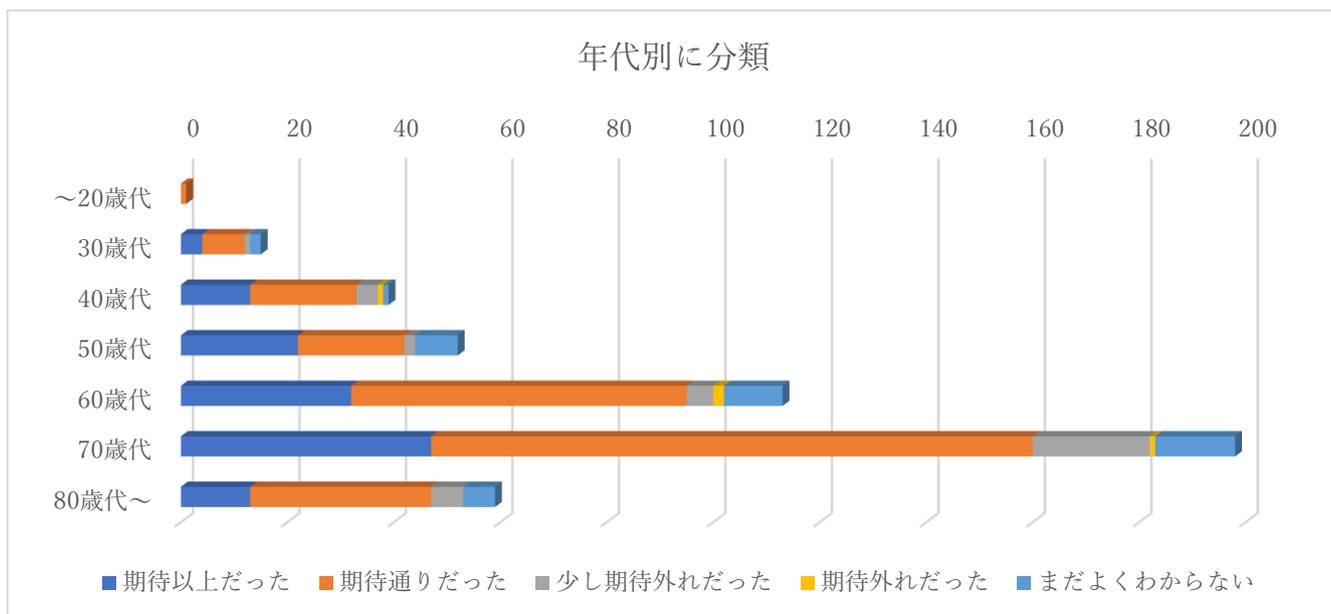
- * 二地域居住者には「生物多様性」「子育て」「音楽・工芸」「新規就農」を理由に挙げる人が少ないことがわかる
- * その他の理由は、定住者と二地域居住者どの間であまり大きく傾向の違いはない

B-3. 八ヶ岳山麓に移住していかがですか

477 件の回答

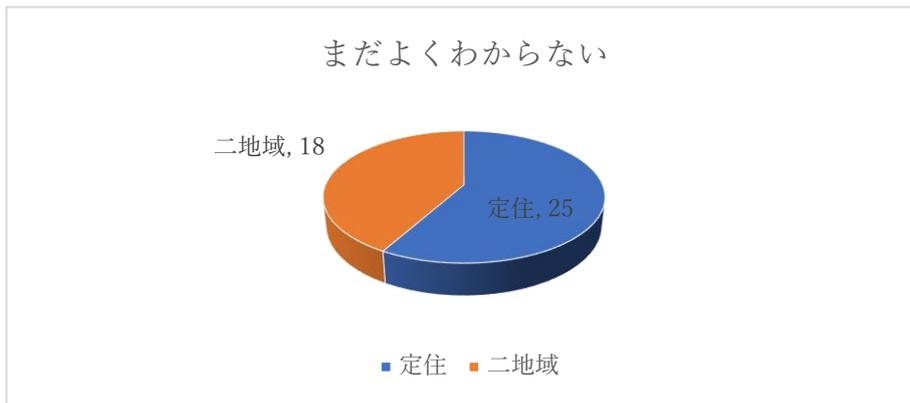


- * 「期待以上」、「期待通り」の回答が 80% を超える
- * 全般的に移住を期待通りと捉えている人が多い



- * 「少し期待外れだった」とする人は、60 歳代に多い傾向
- * 70 歳代、80 歳代で「まだよくわからない」との回答がある

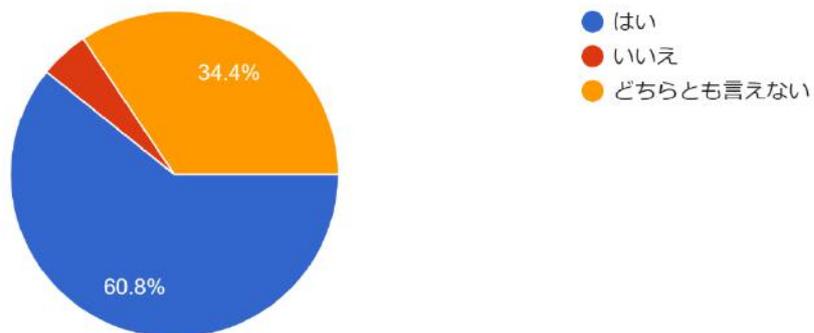
◆「まだよくわからない」と回答した人を居住スタイル別に分類



* 「まだわからない」と回答した人にも多くの定住者が含まれる

B-4. 家族や友人にも移住先として八ヶ岳山麓を勧めたいですか

477 件の回答



* 満足度と比べて『勧めたい』となると減少する

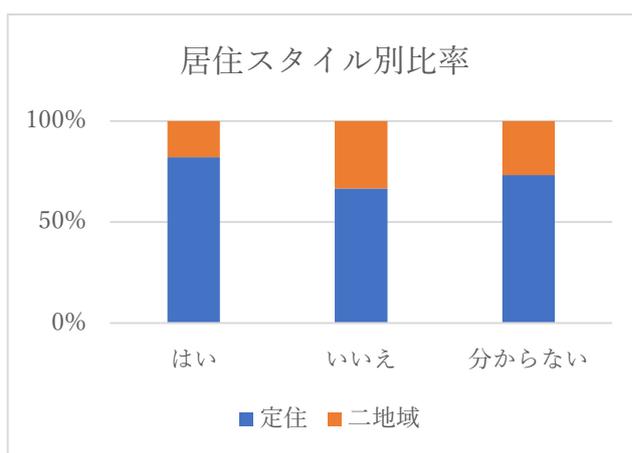
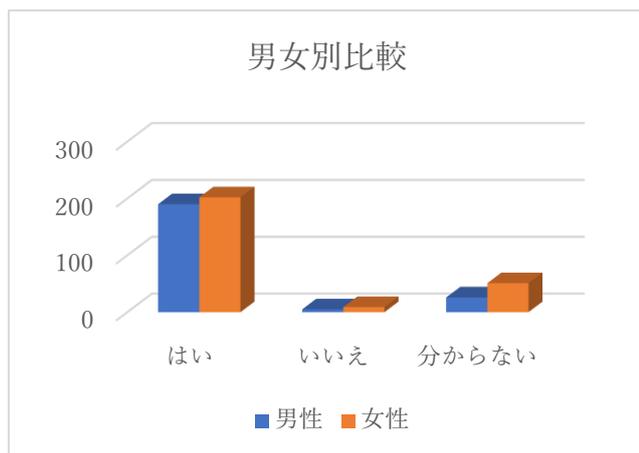
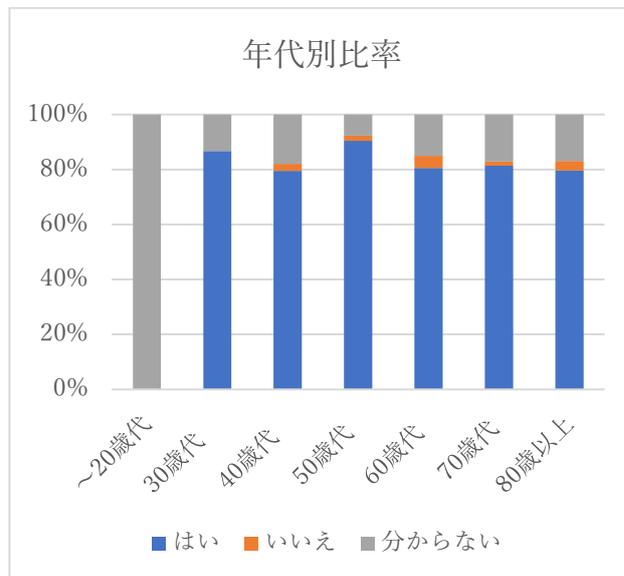
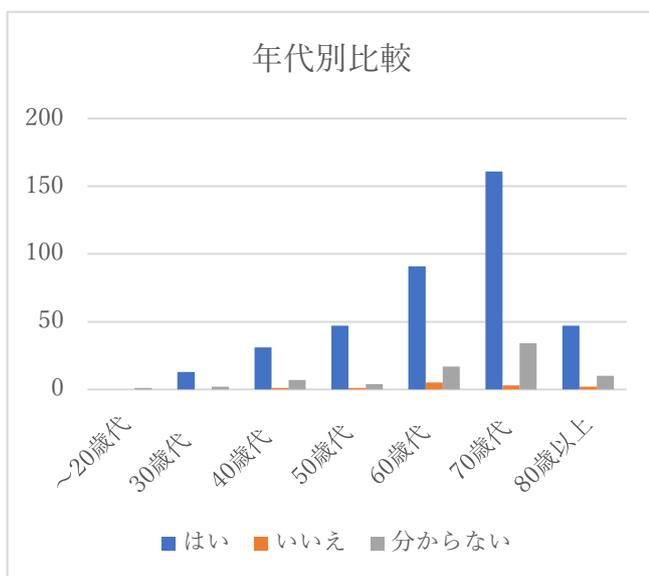
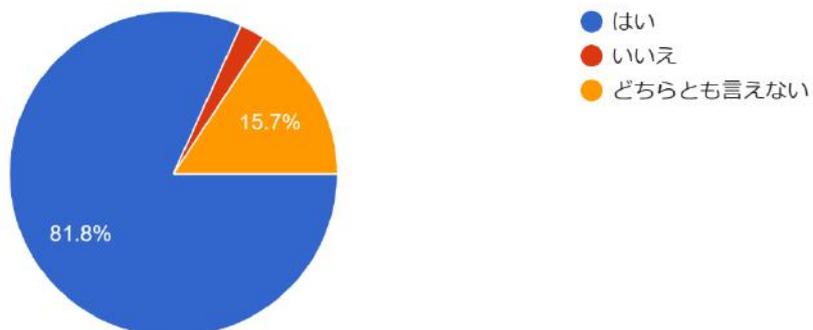
* 『どちらとも言えない』とする理由として、

「個人の志向の問題だから」や「八ヶ岳山麓での移動手段」を指摘している人が多くいる

* 自分の満足度と友人にも勧めたいと思う気持ちとは必ずしも一致しないことがわかる

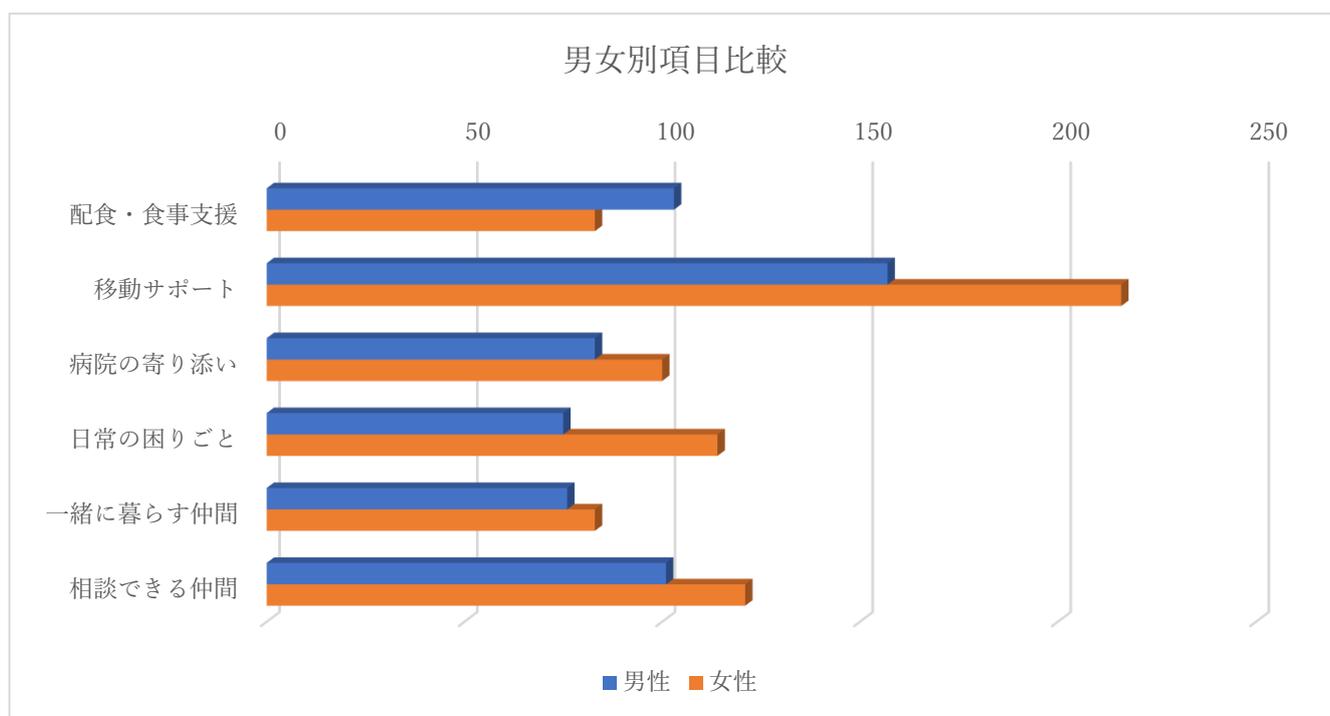
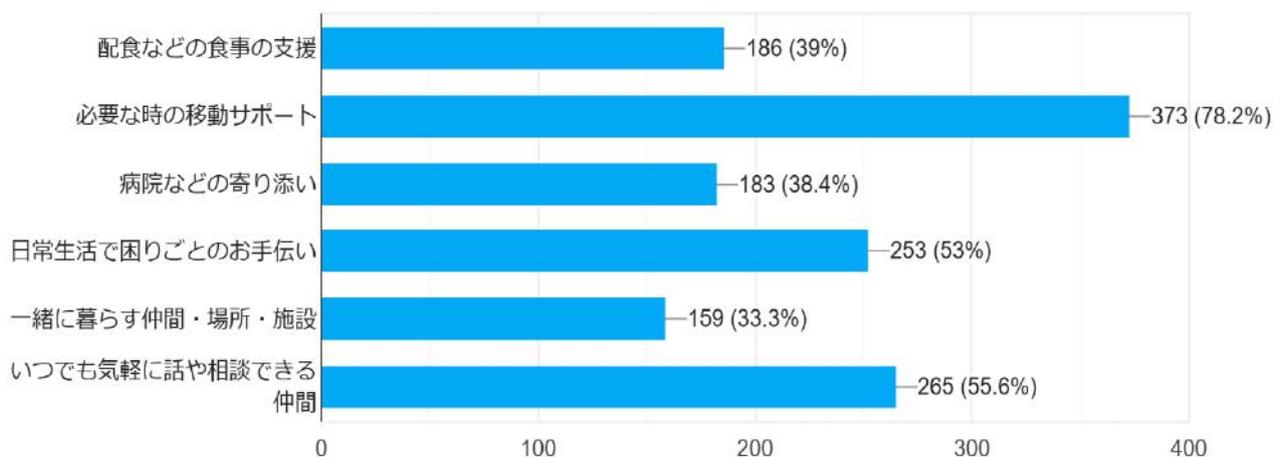
B - 5. 今後も八ヶ岳山麓で暮らしたいですか

477 件の回答



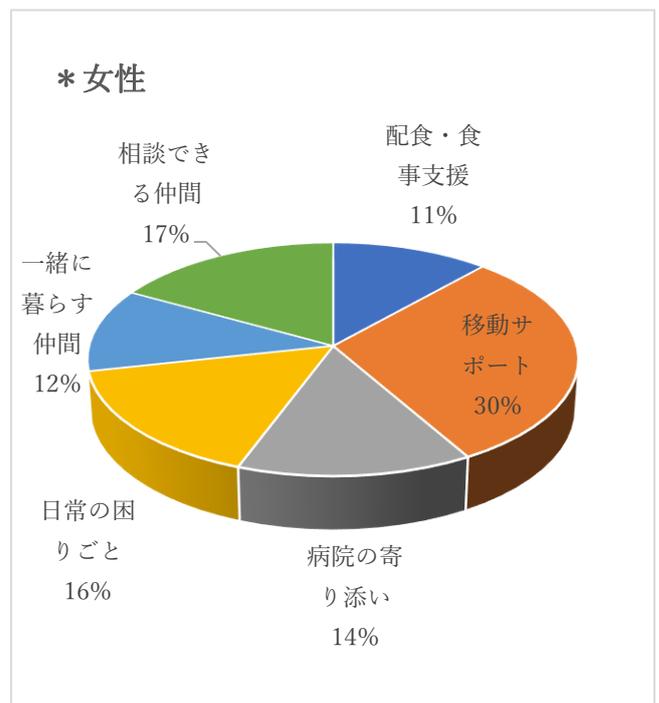
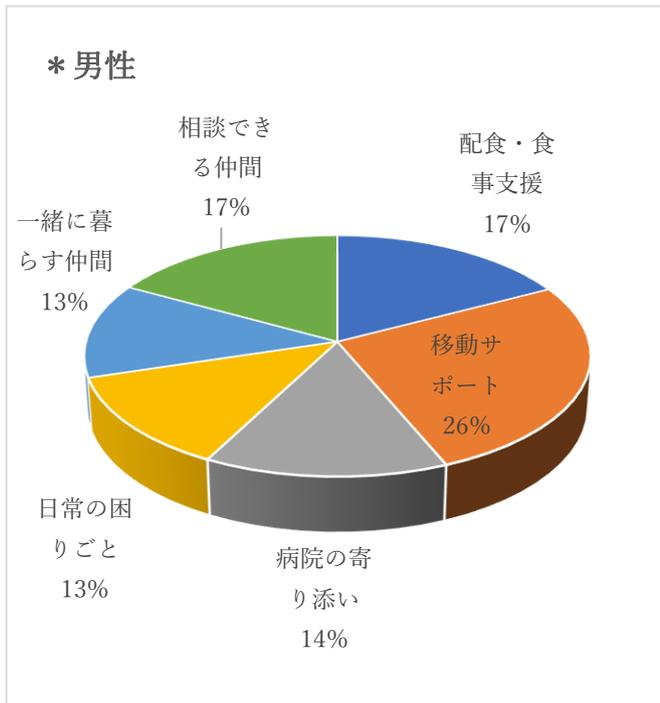
*多くの人が、『今後も八ヶ岳山麓で暮らしたい』とするものの、高齢となった時の移動手段を心配する意見が多い

B - 6. 八ヶ岳山麓ですでに一人暮らしをしてい...暮らすことができますか (いくつでも)
477 件の回答



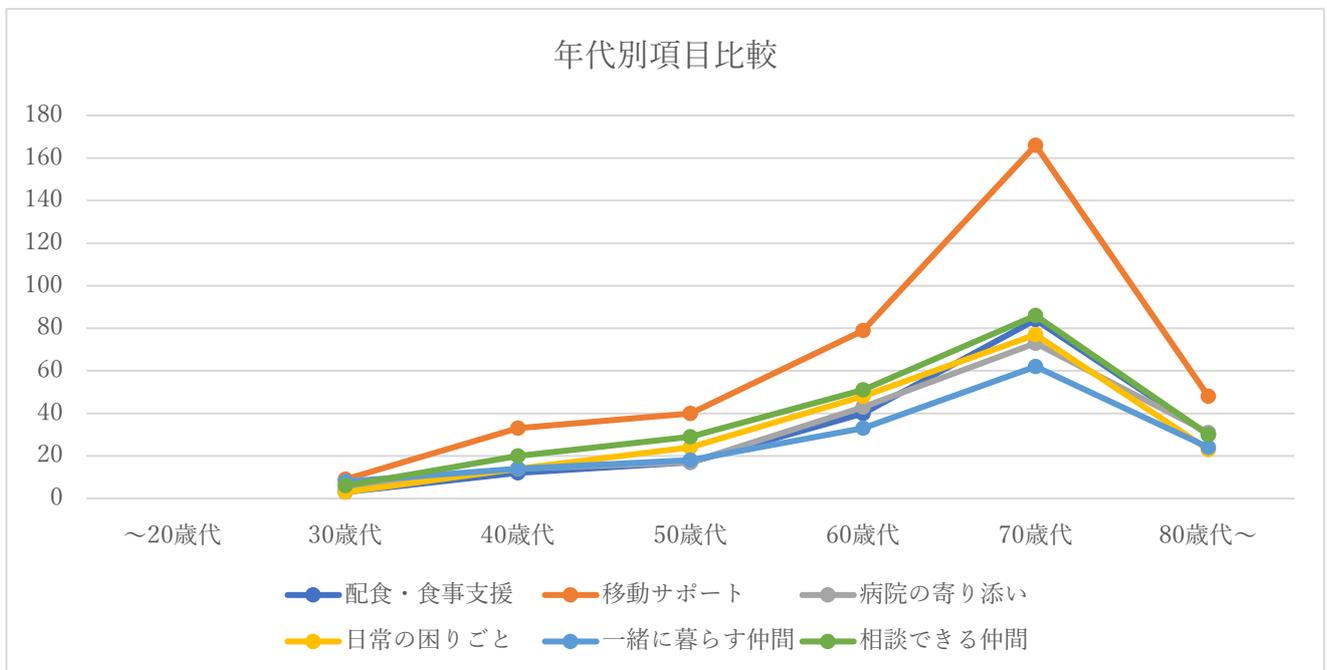
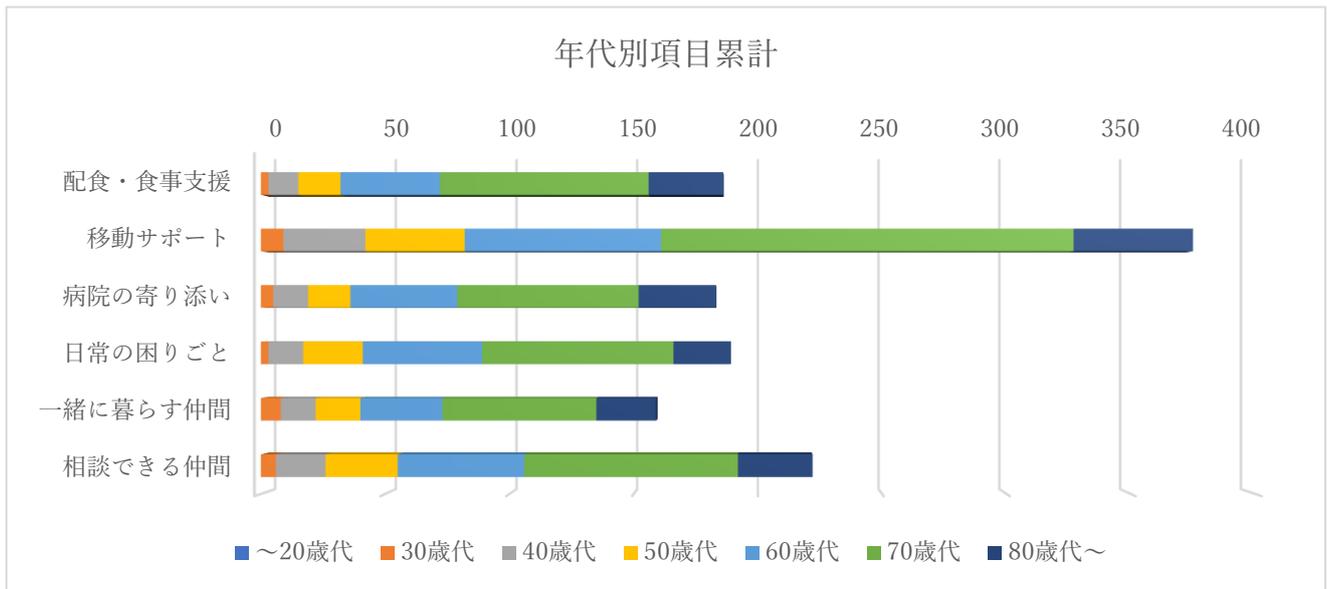
- * 男性は、「配食・食事の支援」を望む声が多い
- * 女性は、「移動のサポート」「日々の困りごとのお手伝い」を多くの人が望んでいる傾向がある
- * すべての項目が必要と、すべてにチェックを入れた人が多かった
- * 「相談できる仲間」との回答が「移動サポート」に次いで多い

◆男女別に項目を割合で比較



- *男性・女性ともに、同じような割合で、各種のサポートを希望している
- *必要と考える項目の割合を比較すると、男女で大きな違いがない
- *男性でも「移動サポート」を心配する人が多い

◆年代別男女別に項目を割合で比較

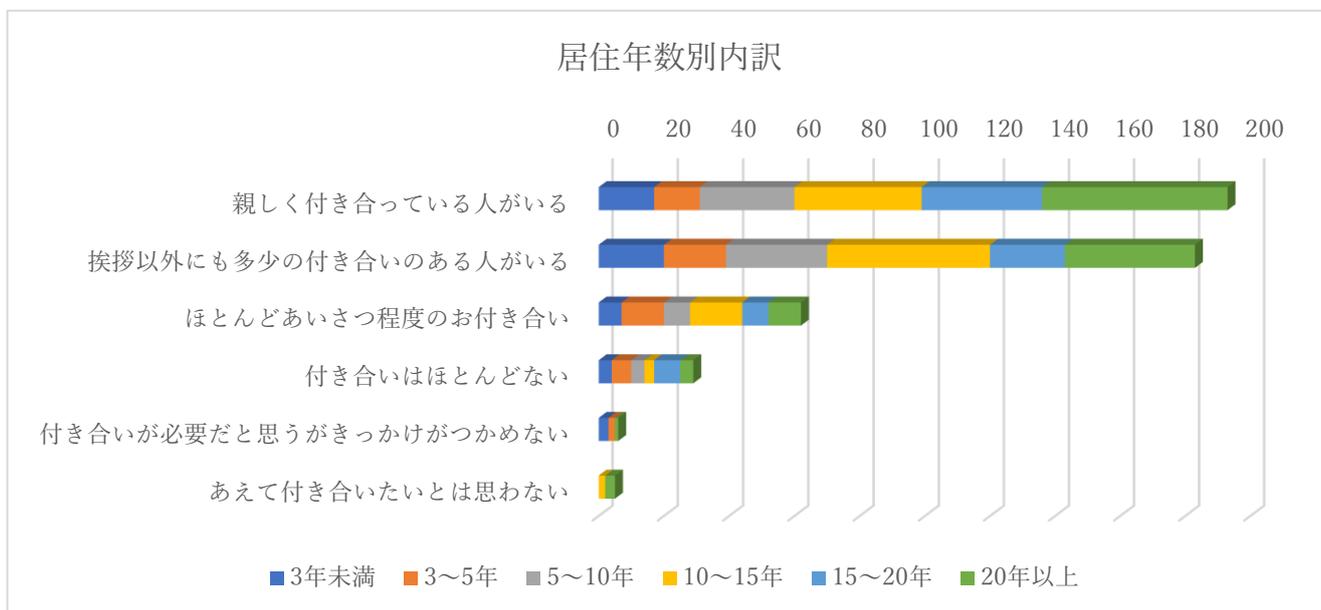
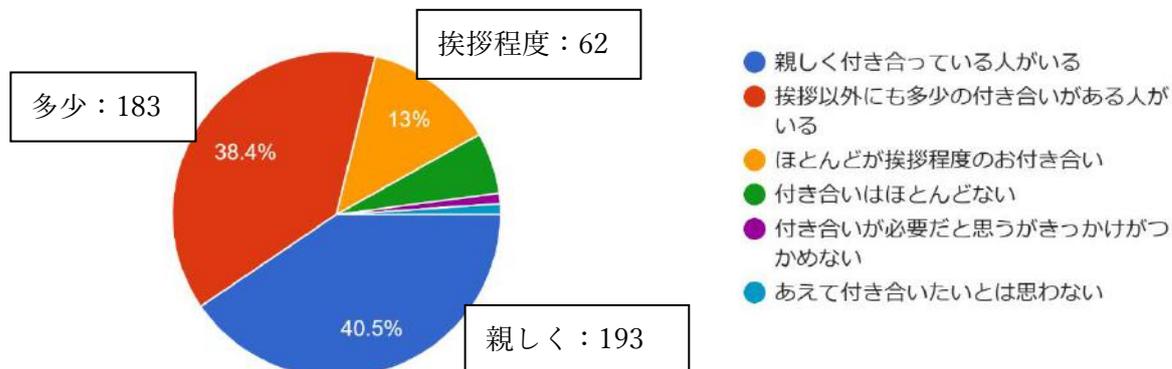


- * 『移動サポート』を心配する意見が、各年代でトップを占める
- * 特に70歳代は運転免許の高齢者講習が身近となり、免許返納を念頭に交通手段の確保が現実問題となることが要因とも思われる

【問 C. 地域とのかかわりについて】

C-1. あなたは地元の人とどの程度の近所づきあいをしていますか

477 件の回答



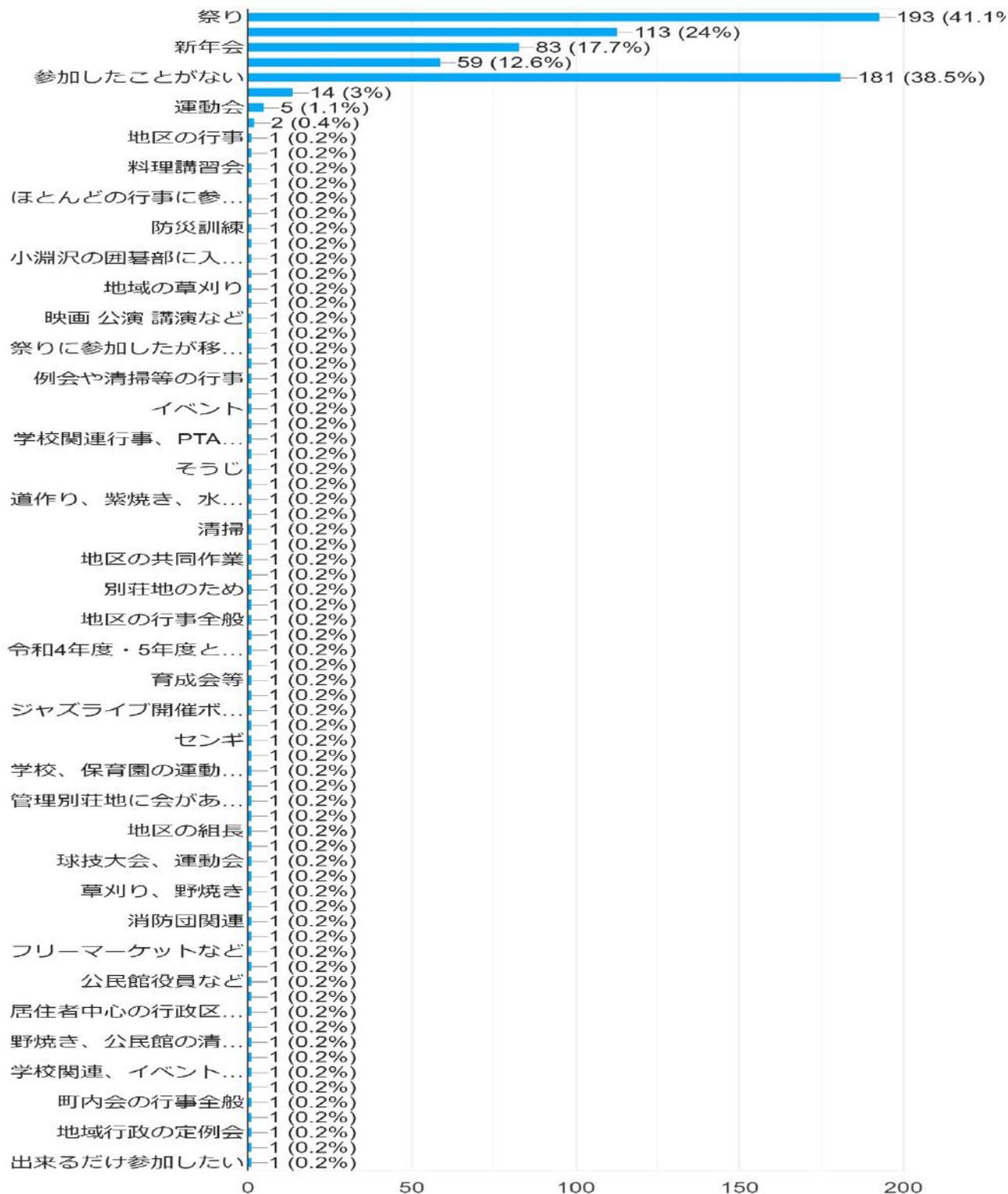
* 『親しく付き合っている人がいる』、『多少の付き合いのある人がいる』が80%弱

* ほとんどの人が地元の人との付き合いがある程度あることが分かる

* 『あえて付き合いたいとは思わない』とする人はごくわずかだが、中には20年以上居住している人の中にもいる

C-2. あなたは地域の行事に参加したことがありますか (いくつでも)

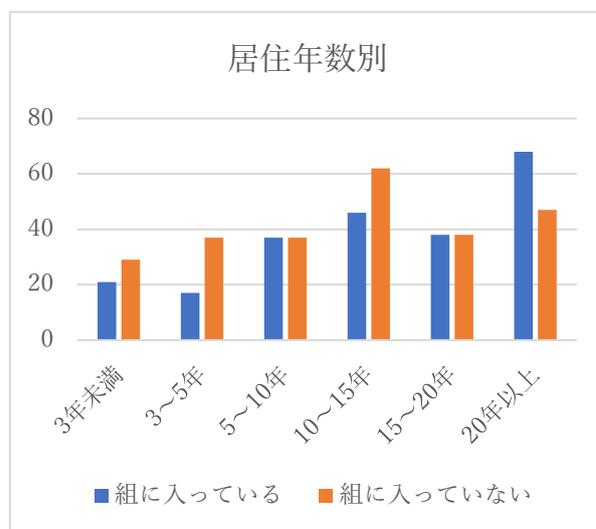
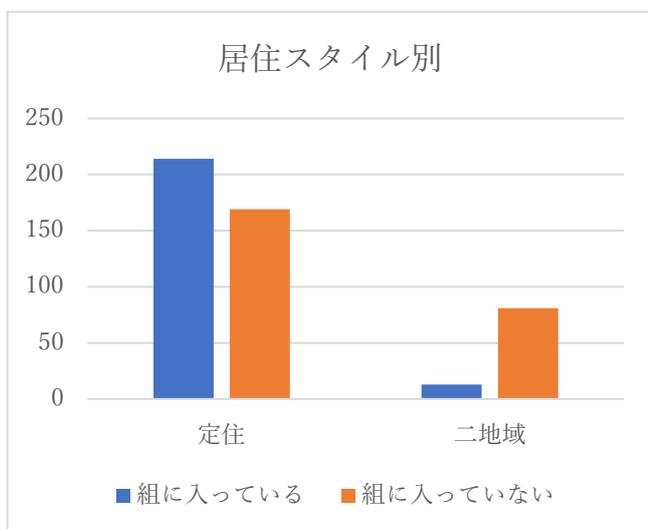
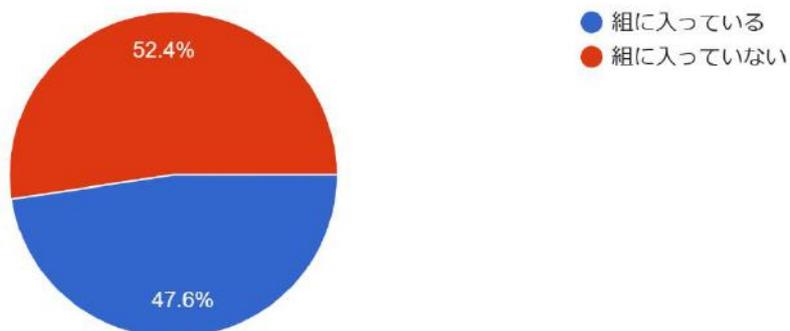
470 件の回答



* 多種多様な町の行事に参加していることがわかる

* その反面、『参加したことがない』との回答も予想以上に多い

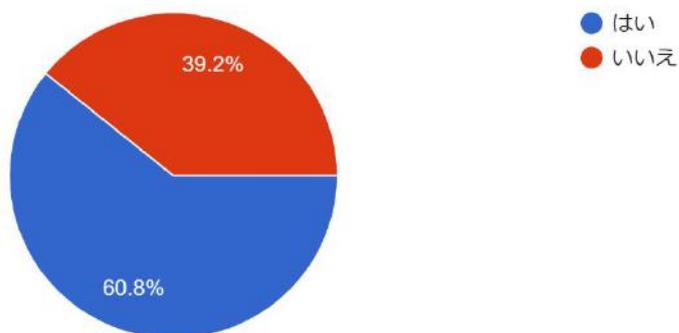
C-3. あなたは行政区の「組」（回覧板や市からの広報が配布される）に入っていますか
477件の回答



- * 「組」に入っていない人が半数以上いる
- * 二地域居住の人に「組」に入っていない人が多い
- * 逆に、二地域居住者人でも「組」に加入している人がいる
- * 定住者であっても「組」に加入している人が多いわけではない
- * 20年以上居住している人など、居住年数の長い人は「組」への加入している率が高い
- * 居住年数の短い人が「組に入っていない」と回答している傾向がある

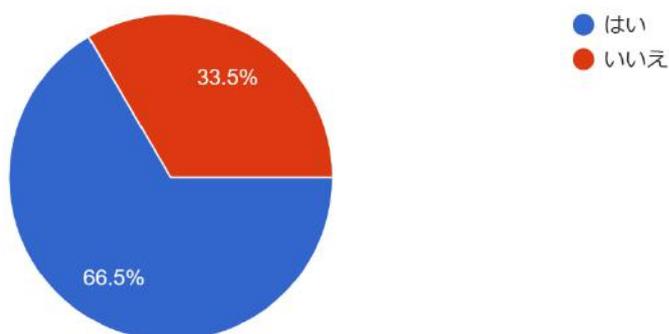
◆「組」に入っている人 のみが回答

「組」の役員を経験したことはありますか
227 件の回答



*6割の人たちは、役員などの地域の「組」での役割を果たしている

あなたは「組」や自治会に明文化された規約はありますか
227 件の回答



*多くの「組」では、その組織に係わる規約が明文化されているが、明文化されていない組織も3割以上存在している

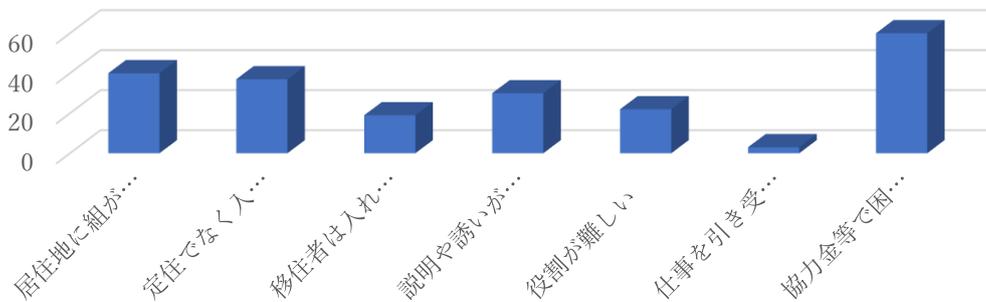
*役員を経験していないため、規約の存在を知らないケースも考えられる

◆「組」に入っていない人 のみが回答

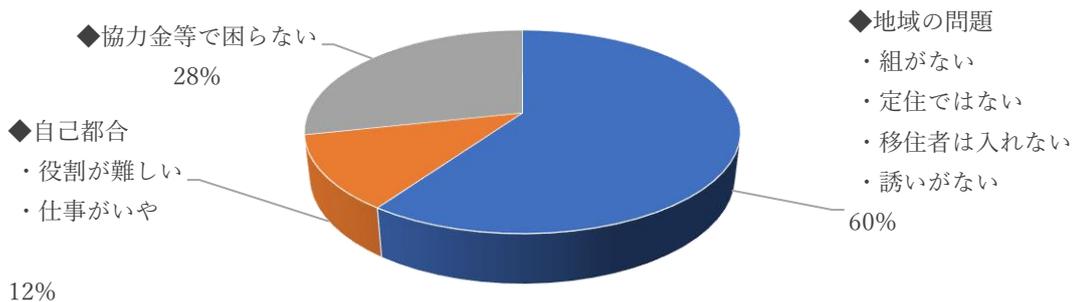
行政区の「組」に入っていない理由は何ですか
250 件の回答



「組」に入っていない理由

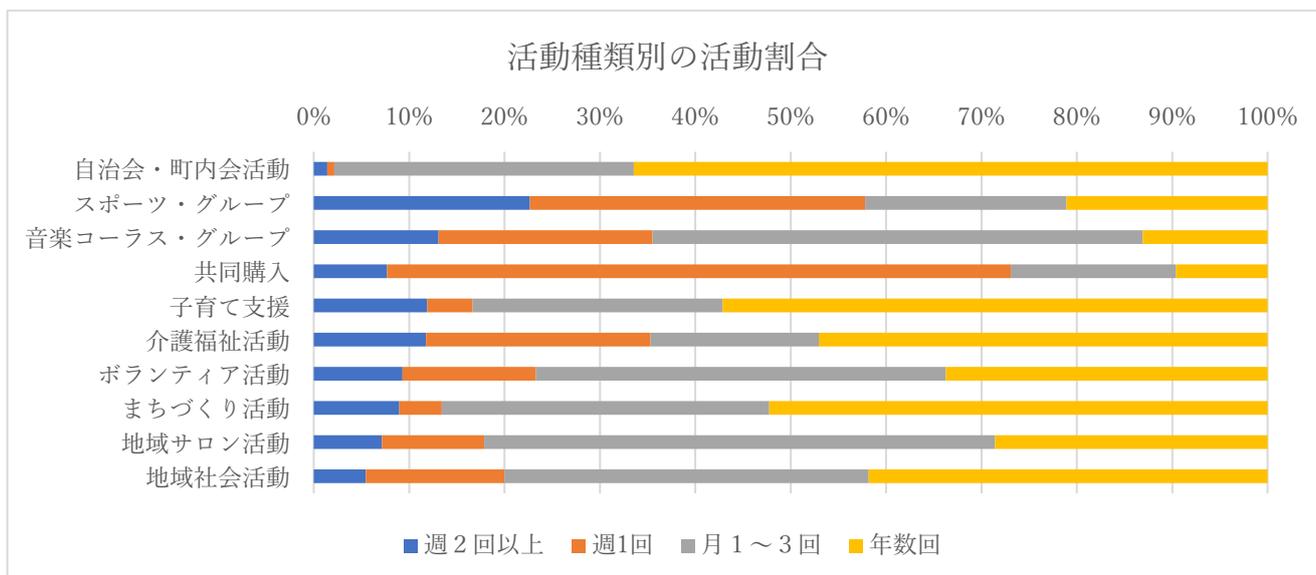
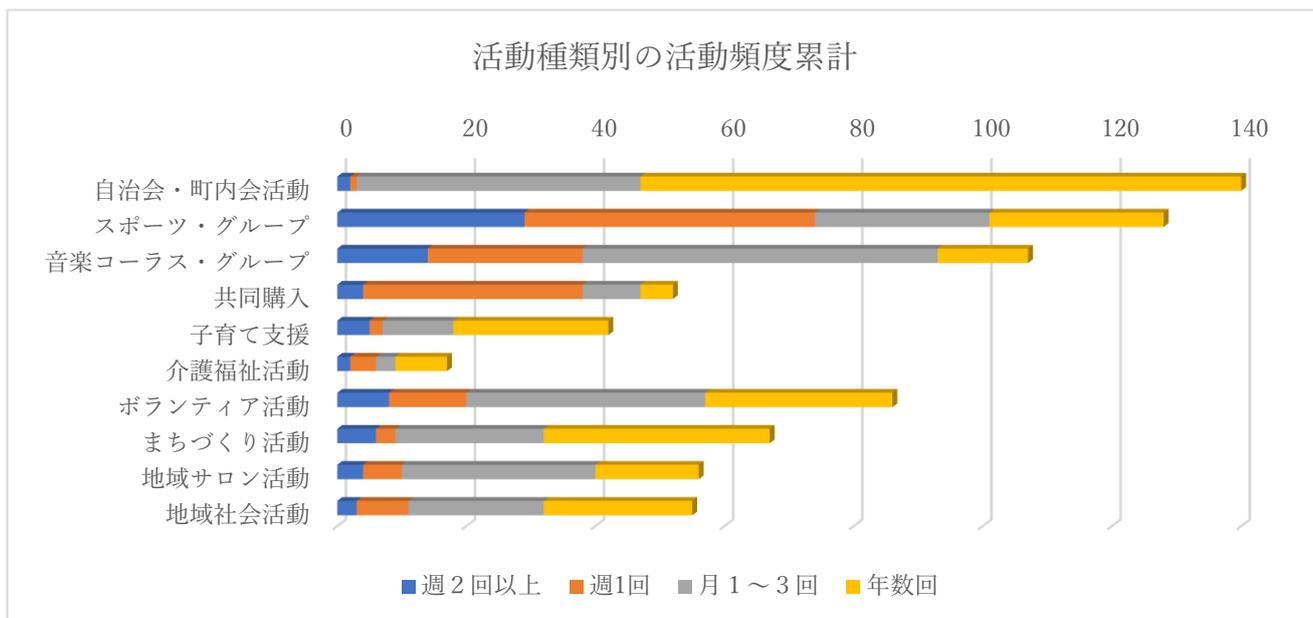


「組」に入らない理由を集約



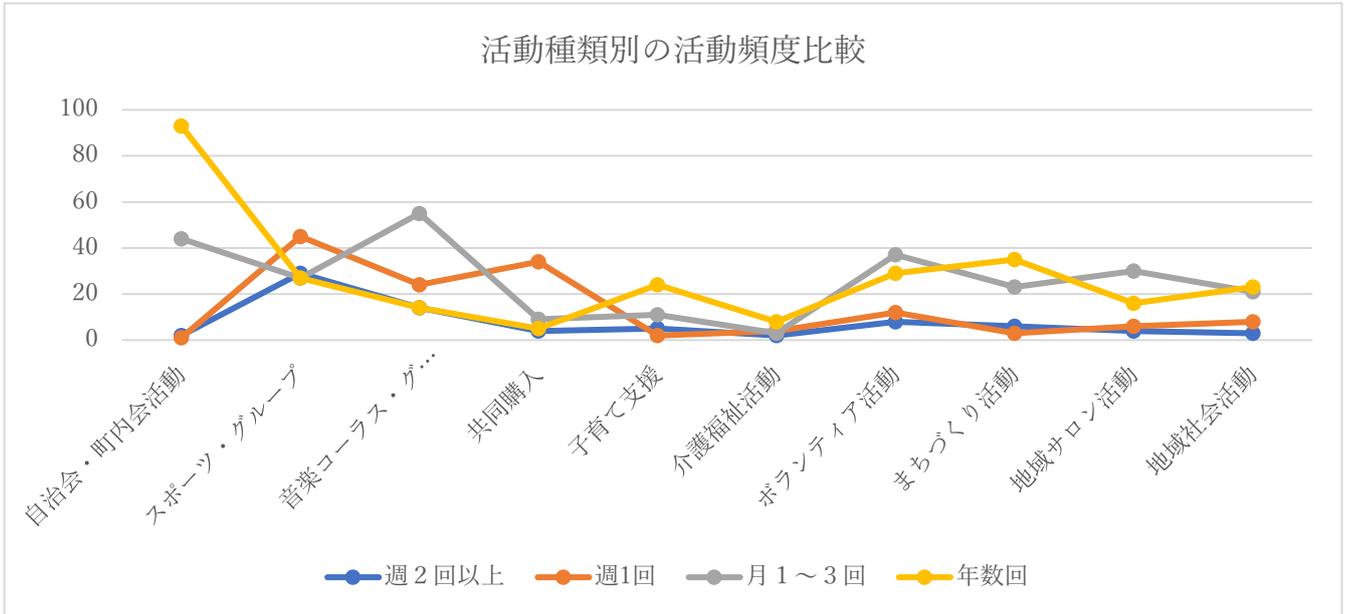
- * 協力金などを支払うことで、「組」の役割は免除され、ゴミ出しに困らない手段を選択している人が 30%弱いる
- * また、このような手段で移住民を受け入れている「組」が多いこともうかがえる
- * 地域のルールなどで「組」に参加できないケースが 60%と一番多い

【問 D. 地域での活動について】



- * 自治会、町内会の活動が一番多いが、活動頻度は年に数回の活動
- * スポーツ、音楽のグループに参加して活動している人が多い
- * 介護支援・社会福祉活動への参加はあまり多くない

活動種類別の活動頻度比較



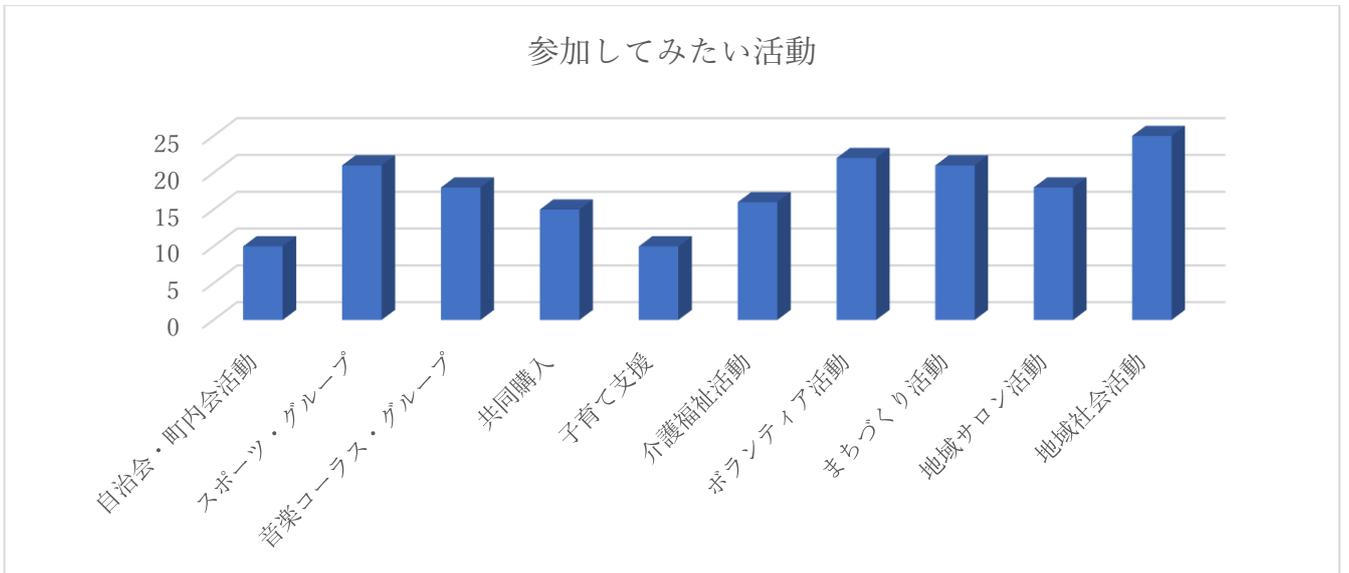
* 毎週参加している活動は、「スポーツ」「共同購入」

* 月1〜3回参加する活動は、「音楽」「ボランティア」「地域サロン」の活動

* 年に数回参加する活動は、「自治会」の活動

と、およその活動内容と頻度が分類できる

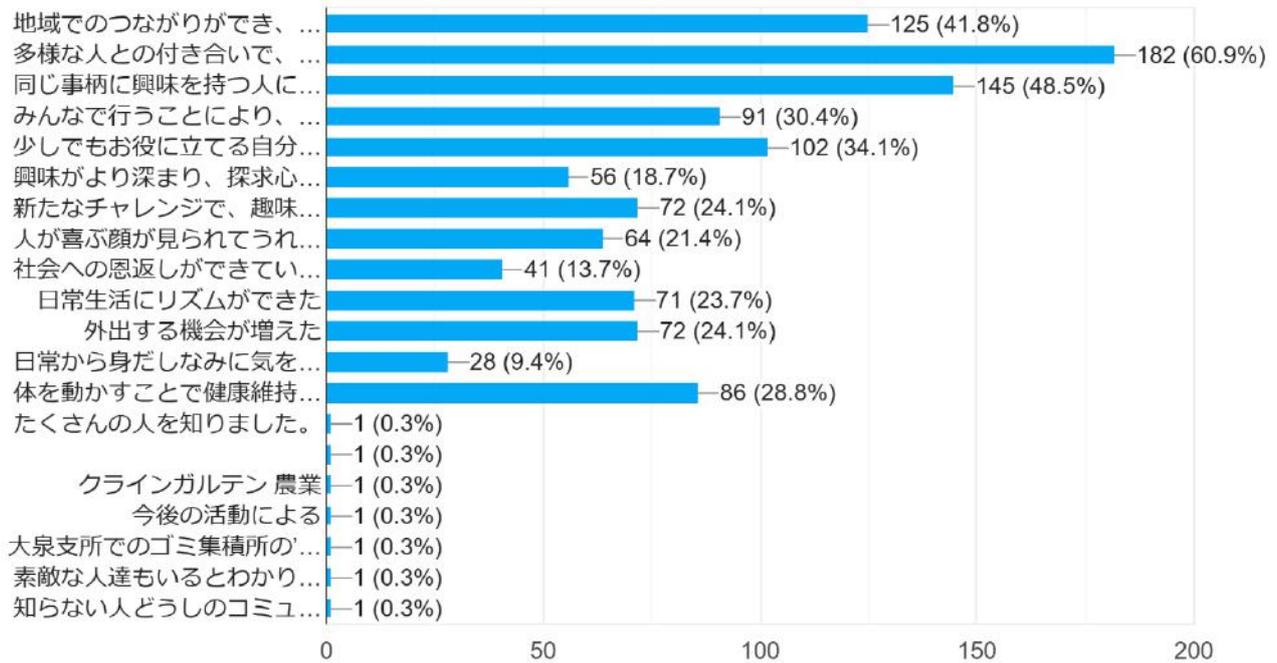
参加してみたい活動



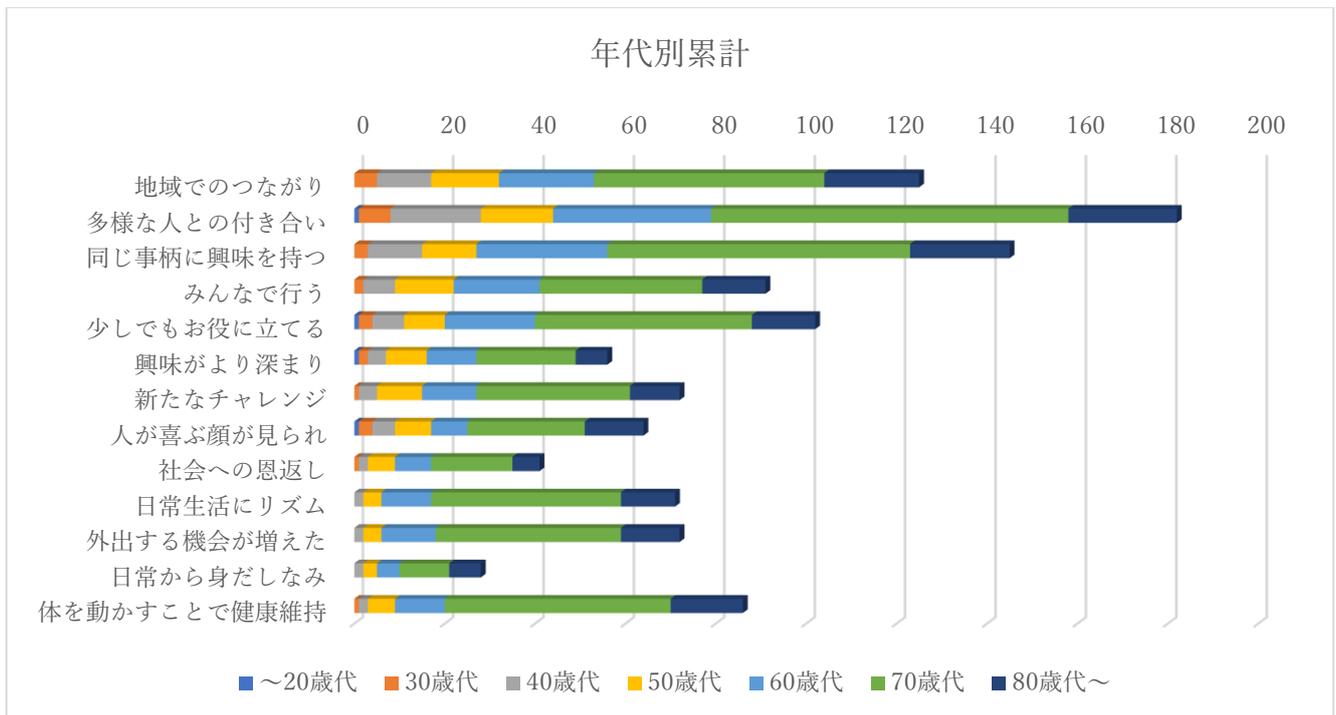
* 「参加してみたい活動」として、「地域社会活動」「ボランティア活動」「まちづくり活動」に興味を示している人が多い

D-2. 社会的な活動をしていてよかったことはどのようなことですか (いくつでも)

299件の回答

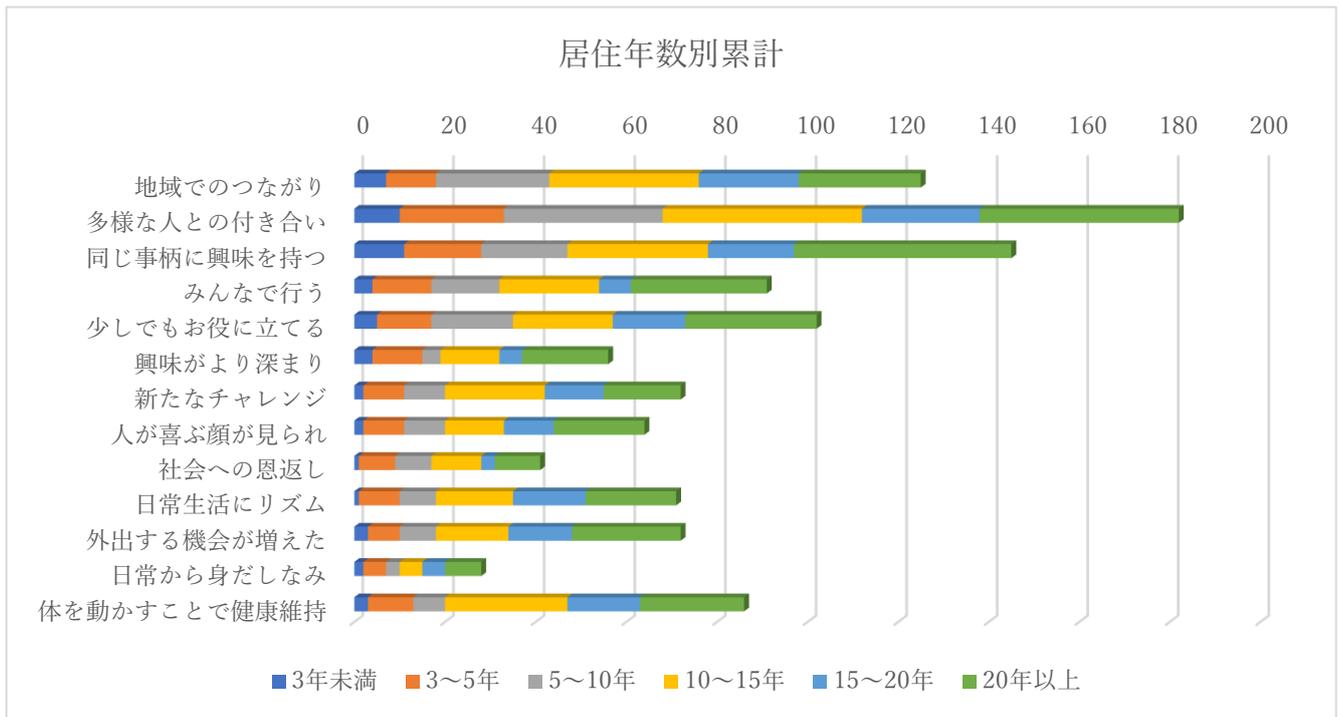


◆活動していてよかったことを年代別に比較

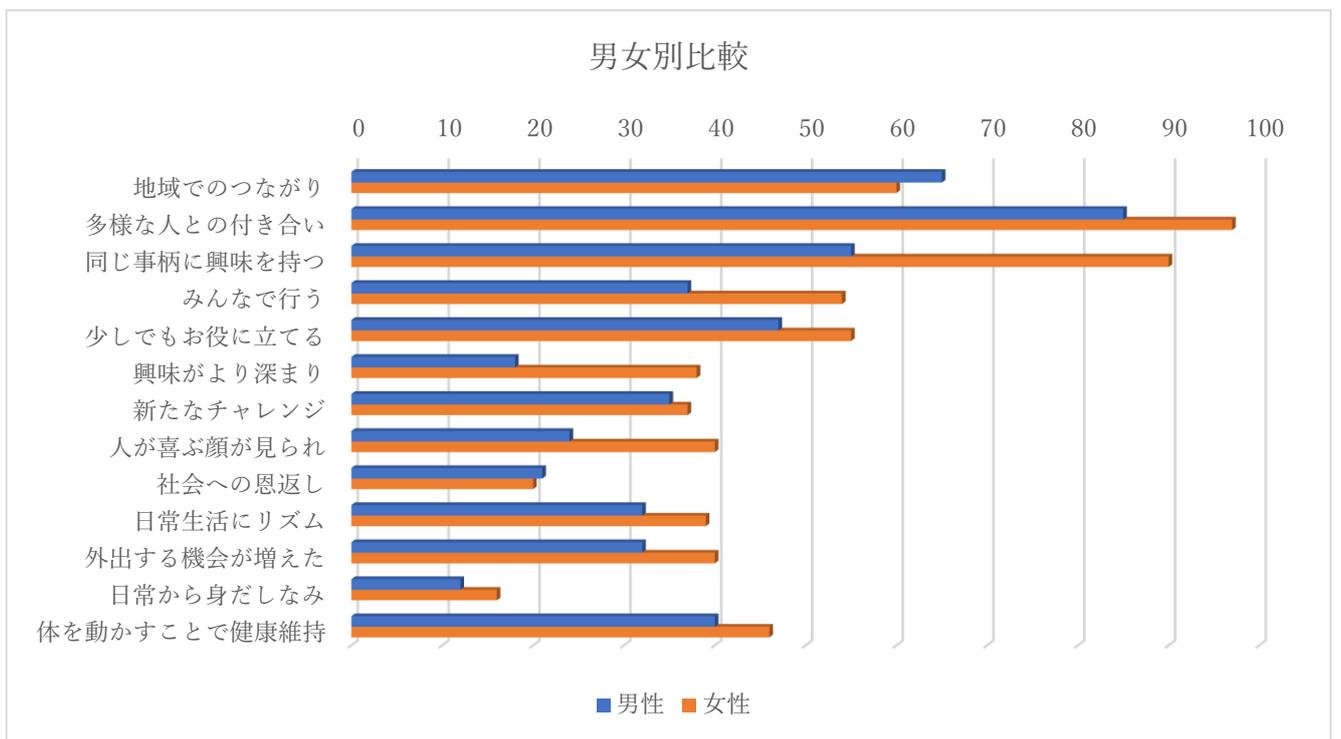


*年代によってはあまり大きな違いが見受けられない

◆活動してよかったことを居住年数別に比較



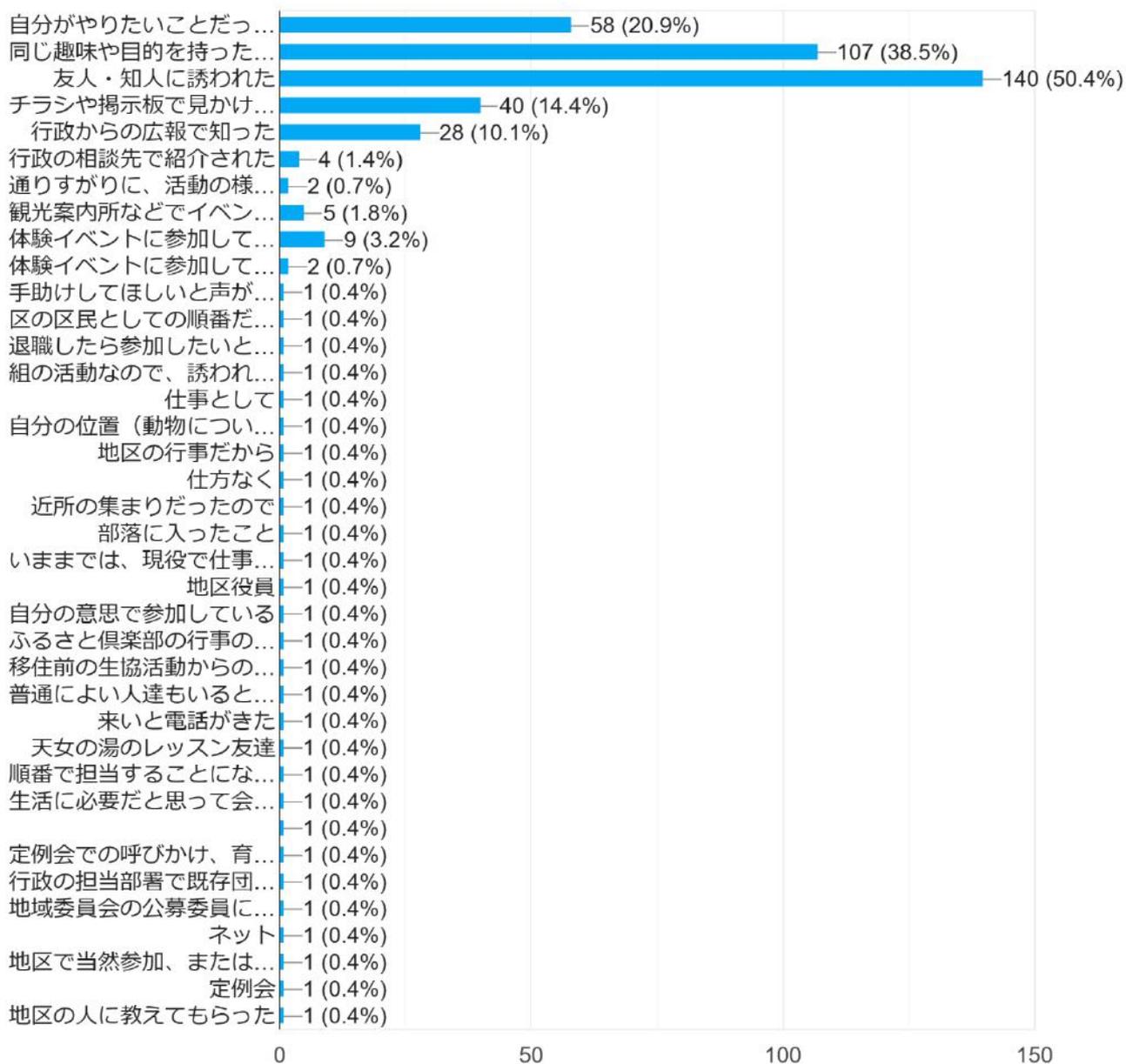
◆活動してよかったことを男女別に比較



- * 「地域でのつながりができた」とする男性が多い
- * 「社会への恩返し」と回答する男性が多い
- * 女性の場合は、「同じ事柄に興味を持つ人とであえた」とする割合が多い

D-3. 活動に参加するきっかけとなったのは何でしたか（いくつでも）

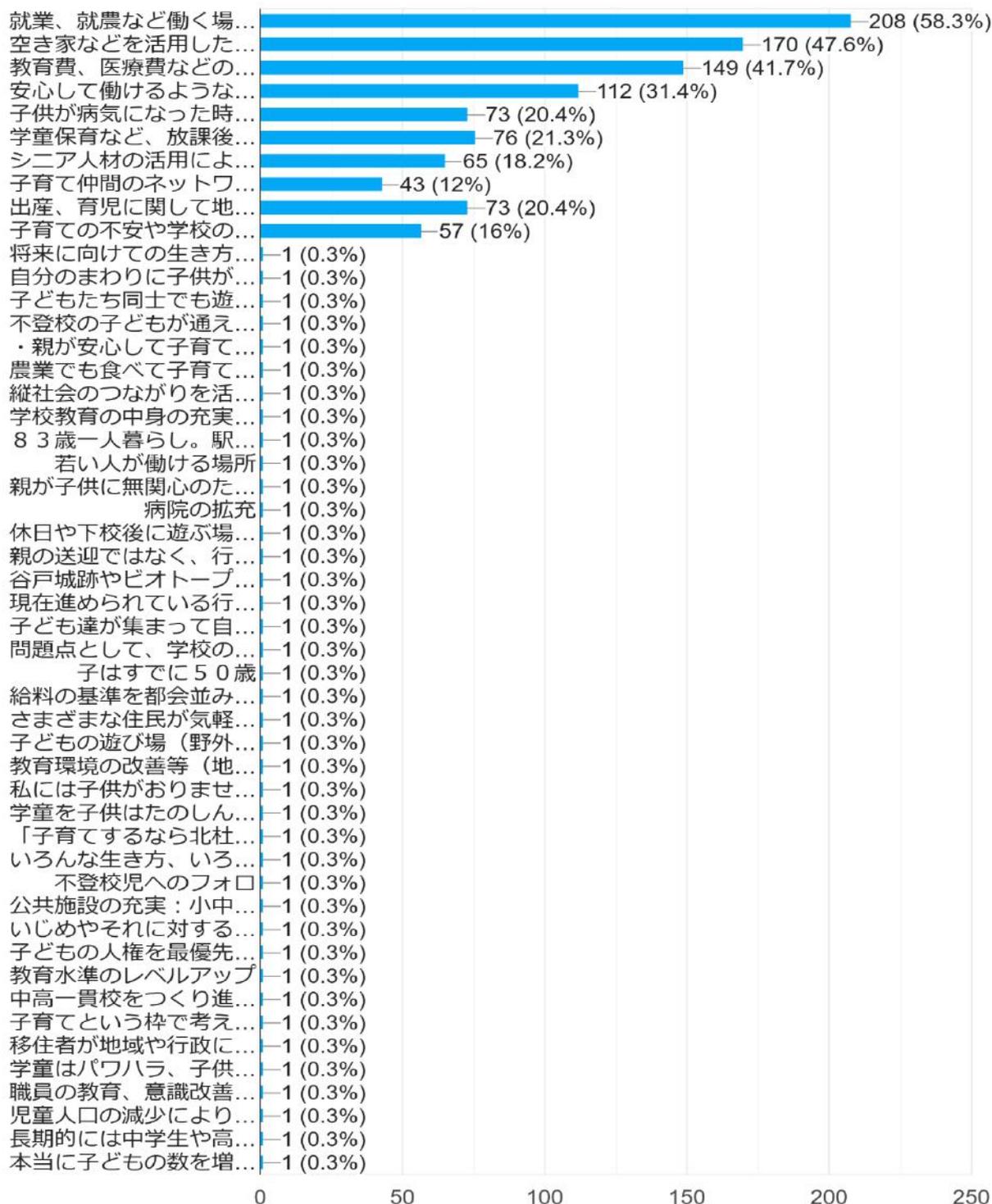
278 件の回答



- * 友人に誘われて活動へ参加するきっかけとなるケースが多い
- * 行政からの広報でも 1 割の人が活動に参加するきっかけとなっている

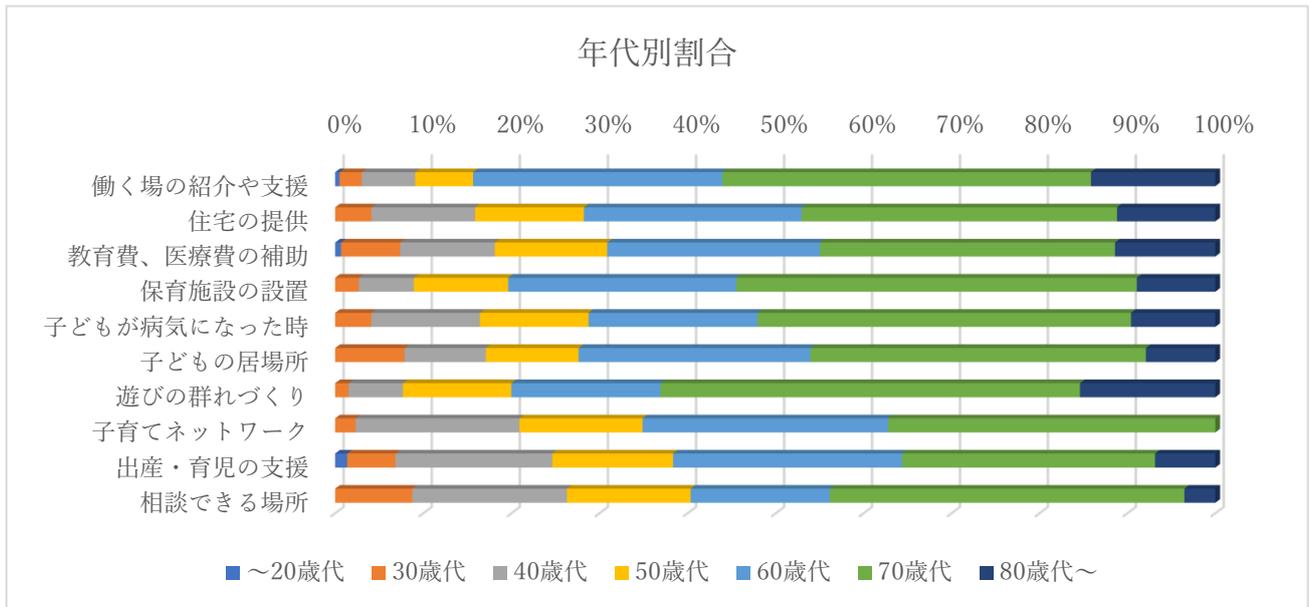
【問 E. 子育て、教育について】

E-1. 「子育てするなら北杜」のキャッチフレーズ...もらいたいと思うことは何ですか（3つまで）
357 件の回答



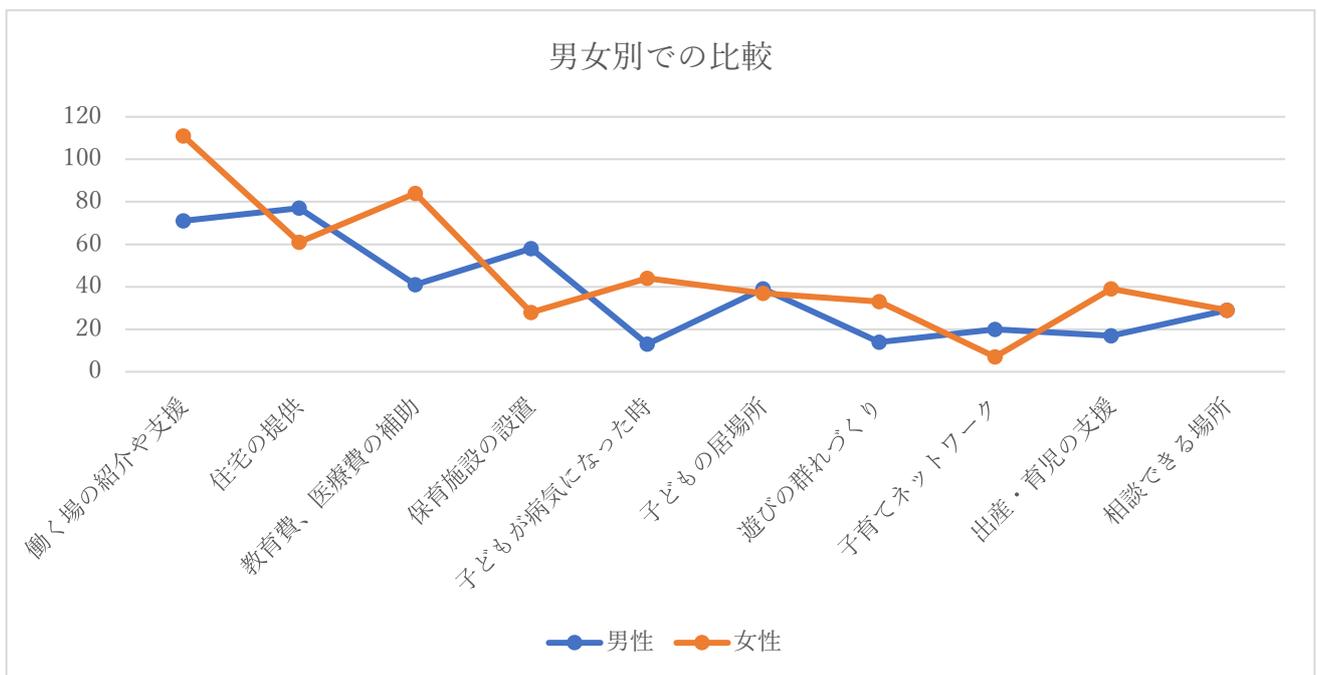
- * 3つまでと制限したにもかかわらず、全項目に○を付けてきた回答が多い
- * いずれの選択肢も必要不可欠であると感じている人が多くいる
- * その他に記入された内容は多岐にわたっている
- * 「高齢のため」として、無回答も多い

◆充実してもらいたい項目を比較



* 40歳代以下の子育て世帯では、「子育てネットワーク」「出産・育児の支援」「相談場所の設置」の割合が高くなる

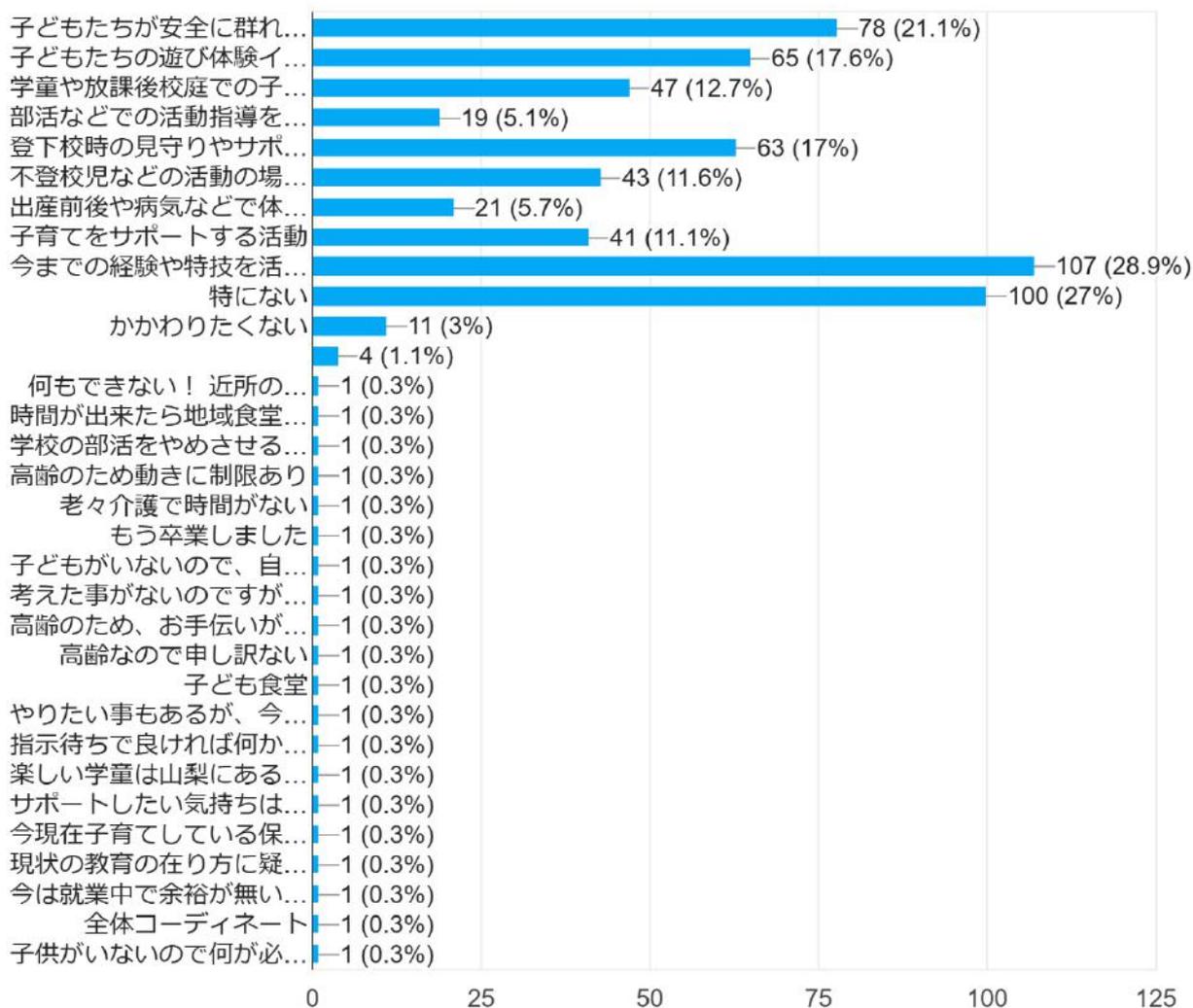
* 70歳代以上の高齢者は「遊び場づくり」「働く場所」「保育施設の設置」の割合が高い



* 「働く場所」「教育費」「病気の時の支援」「出産・育児」の項目で女性の割合が高くなる

* 「子育てネットワーク」の女性の割合が思いのほか低い

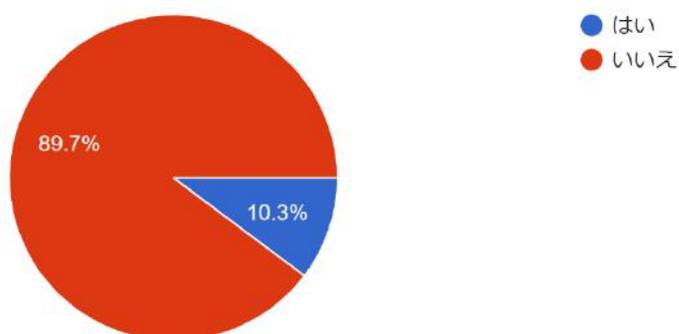
E-2. 地域社会の中で子どもを育てていくため、...どのようなお手伝いができますか（3つまで）
370件の回答



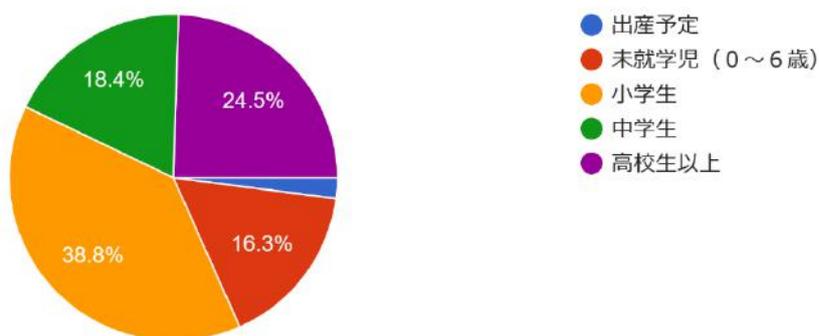
* 今までの経験や特技を役立てたいと考えている人が一番多い

* 「高齢なので手伝えない」という回答も多い

E-4. あなたは現在、出産予定や子育て中ですか、またはご家族に子どもがいますか
477 件の回答



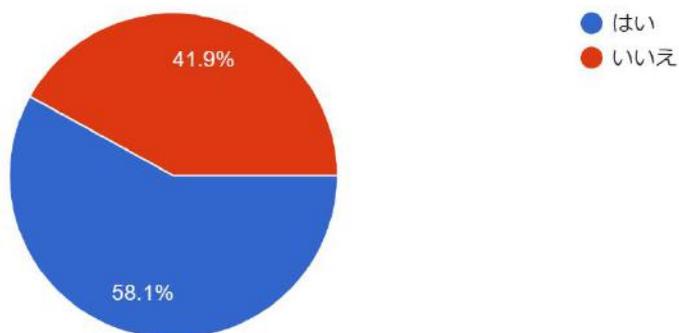
お子さんが該当する番号を選んでください
49 件の回答



* 回答者の年齢構成から子育て世代が少ないことが想定されたが、それでも 1 割程度の子育て世代がいる

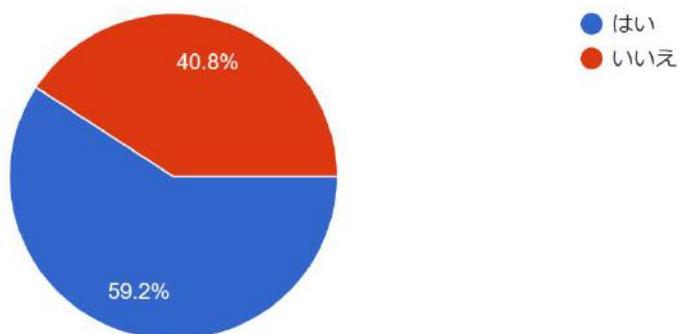
【問 F. 空き家や耕作放棄地について】

F-1. 空き家を活用したまちづくりや地域の活性化活動に興味がありますか
477 件の回答



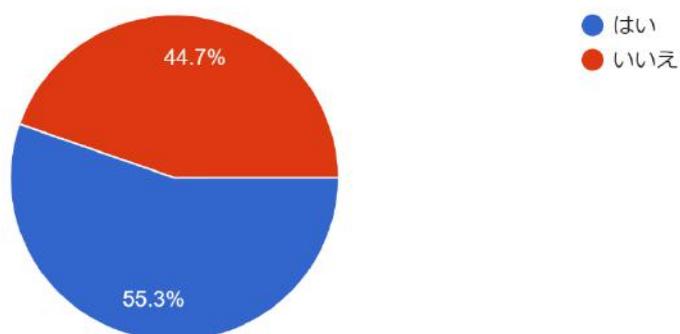
◆ 「興味がある」と回答した人のみ回答

空き家再生活動の取り組みがあれば参加したいと思いますか
277 件の回答



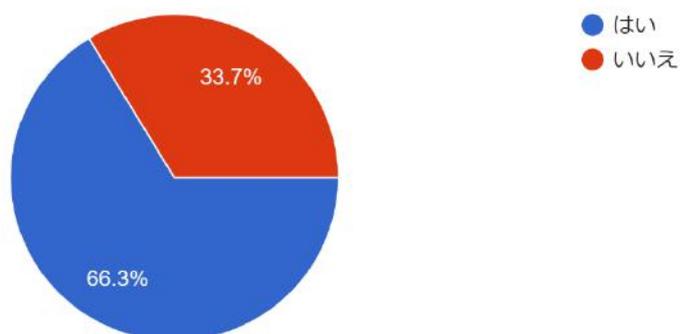
- * 空き家の活性化に興味を持っている人が 60%弱、またそのうち 60%の人が取り組みに参加しても良い、と回答している
- * 全体の回答数の 36%にあたり、回答者の 1 / 3 の人たちが活動への参加意思を示している

F-2. 耕作を放棄された里地（棚田や畑）の再生活動に興味がありますか
477 件の回答



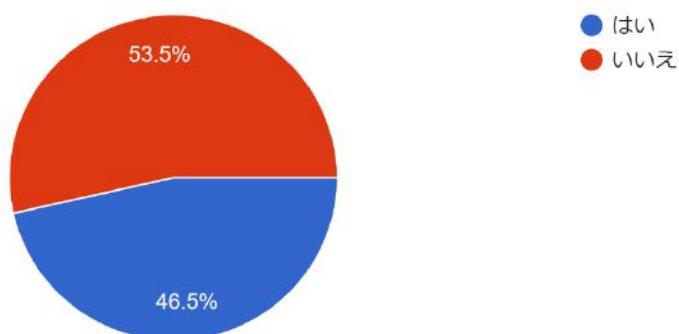
◆ 「興味がある」と回答した人のみ回答

里地再生活動の取り組みがあれば参加したいですか
264 件の回答



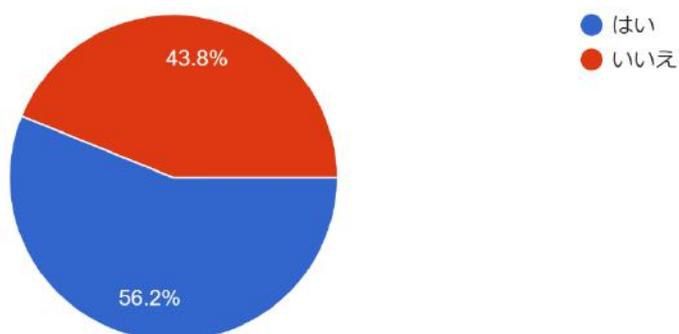
- * 耕作放棄地の再生活動に興味を持っている人が 55%強、またそのうち 66%の人が取り組みに参加しても良い、と回答している
- * 空き家問題と同様に全体の回答数の 36%にあたり、回答者の 1 / 3 の人たちが活動への参加意思を示している

F-3. 耕作を放棄された里地を体験型イベントとして利用することに興味がありますか
471 件の回答



◆ 「興味がある」と回答した人のみ回答

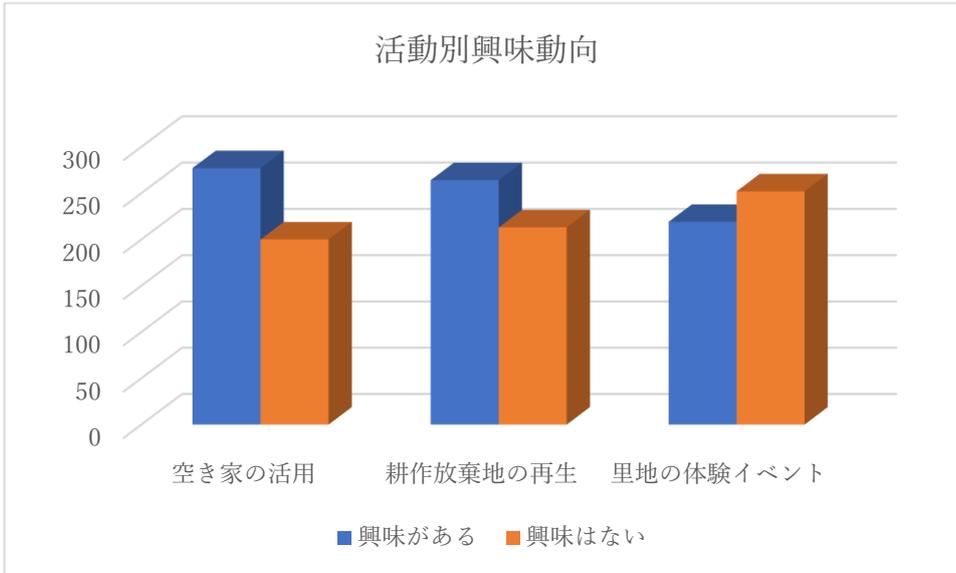
里地での体験型イベントがあればスタッフとして参加したいと思いますか
219 件の回答



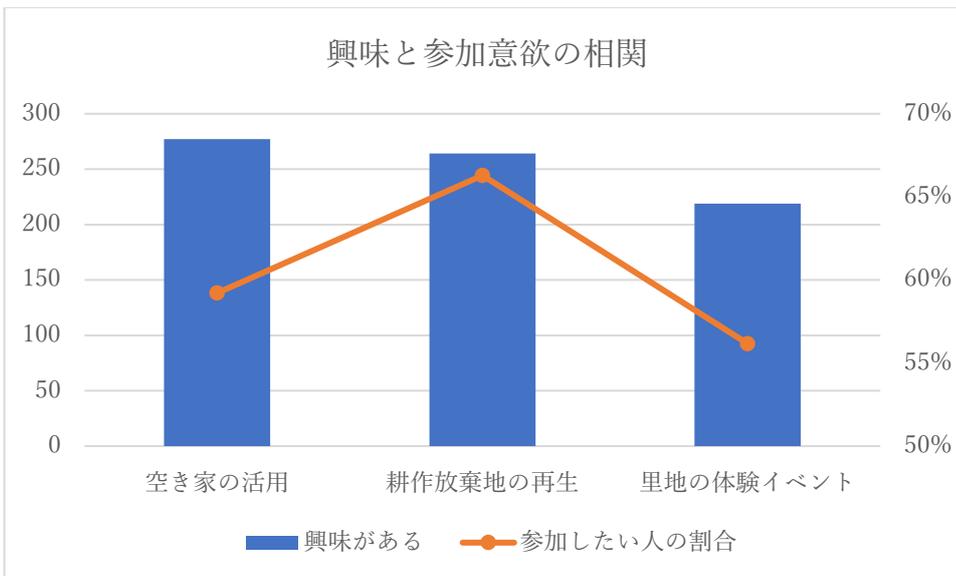
* 里地の体験イベントとなると、前述の2つの課題に比べて興味は低くなる

* しかし、興味があると回答した人のうち、56%がスタッフとして参加してもよいと回答している

◆ 「空き家」「耕作放棄地」「里地イベント」でそれぞれを比較



* 空き家の活用、耕作放棄地の再生に対する興味が高い
 * 体験イベントとなると、ハードルが高いと感じるのか興味が下がる

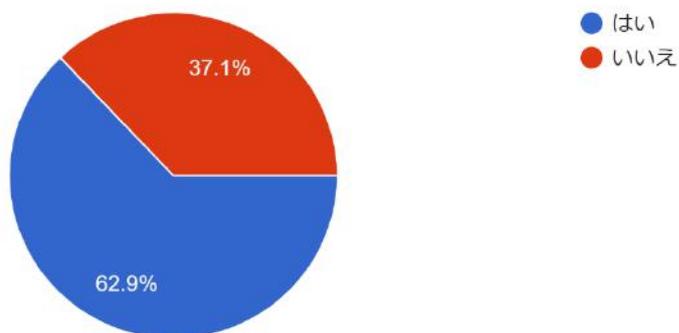


* いずれの活動に対しても、参加したいという意欲が高い
 * 特に耕作放棄地に対する、参加意欲が高い
 * 興味のある人の中で、里地の体験イベントへの参加意向割合が高い
 * いずれも、参加意欲がある人が半数を超える

【問 G. 医療や介護について】

G-1. 身近に相談できる医師や病院があります

477 件の回答



* 6割以上の人たちは、「相談できる医師や病院がある」 = 「かかりつけ医」があるとしている

G-2. 八ヶ岳山麓での暮らしで特に不安を感じる医療の問題を一つお選びください

387 件の回答

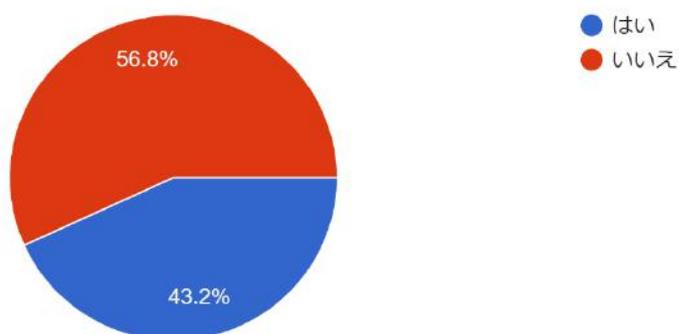


* すべてに必要な課題だが、特に「緊急時・夜間の医療」「専門医」について懸念を示している

* 個人的な見解が多く含まれるが、その他には個人の多種多様な意見が記述されていた

G-3. 介護が必要となった時の相談場所や連絡先を知っていますか

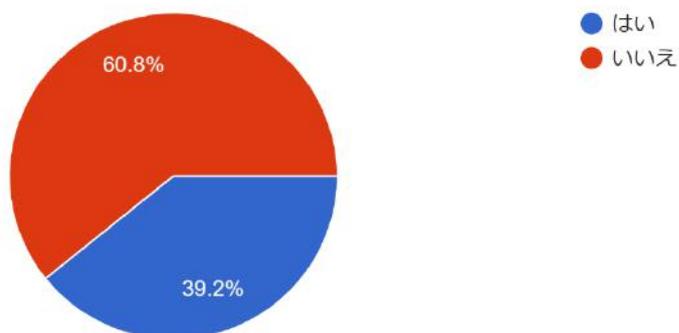
477 件の回答



- * 介護相談ができる場所を「知らない」との回答が「知っている」を上回っている
- * 地域に親類縁者がいないので、身近で介護の経験がないことも要因か？

G-4. 国や自治体の介護支援制度を理解していますか

477 件の回答



- * 介護支援の制度を「理解している」に比べて、「理解していない」とする回答が上回っている
- * 介護の相談場所と同様に、住民にはあまりよく理解されていない
- * 「理解している」という人の中にも、「知っているつもり」の人も含まれ、どこまで正しく理解されているかは判別できない

◆ 「介護支援制度を理解していない」とした人のみが回答

介護制度を知るためには何が重要だと思いますか

279 件の回答



- * 身近な地域ごとに相談できる場所を設置する声が多い
- * 相談場所以外にも、ハンドブックのような手引書を求める声が多い

G-5. 介護が必要となった時、あなたはどのようにしたいと思いますか

456 件の回答



- * 90%近くの人が「自宅で最後まで・・・」と考えている
- * 70%近くの人が「訪問介護などのサービスを利用して」と考えている

G-6. あなたは「人生の終わりの方」についての希...合うことについて、どのように考えていますか
456 件の回答



- *すでに家族との話し合いをしている人が 25%近くいる
- *この結果から、終末期医療に対する意思表示は、ある程度浸透してきているものと思われる
- *しかし、一方で「元気なうちに話し合いたい」との回答が 60%近くあり、まだこれから準備を始めようとする人が多いこともわかる

G-7. あなたは「人生の終わりの方」についての希...おくことについて、どのように考えていますか
459 件の回答

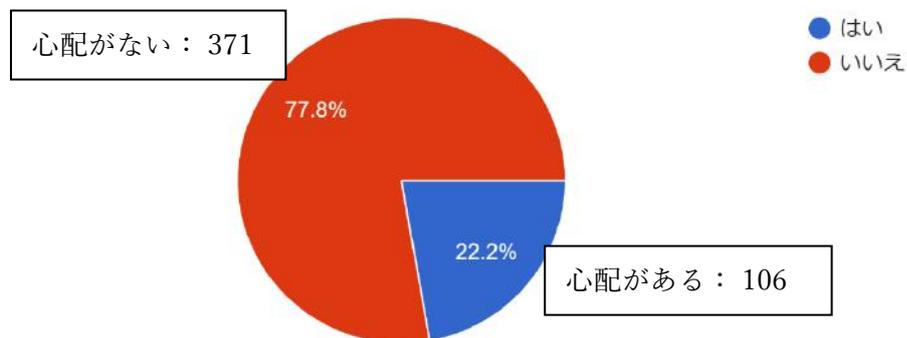


- *リビングウィルに比べてエンディングノートを「作成している」との回答は 10%にも満たない
- *「作成しておきたい」「書き方が分からない」を合わせると 73%以上となる
- *必要性は理解されているものの、いざ作成するとなると、いつかは後回しにしている実態がわかる
- *「何を、どのように、書いておいたらよいか、書き方がわからない」人も 15%近くいる

【問 H. お墓について】

H-1. 自分のお墓について心配に思っていることはありますか

477 件の回答



◆お墓の心配がないと回答した人の理由内訳

その理由をお聞きかせください

371 件の回答



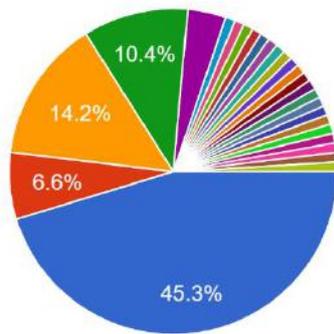
* 「お墓の心配がない」と回答しているが、実際にお墓の準備を済ませているのは、「自分で用意している」「先祖代々のお墓に」という半数に過ぎない

* 「お墓を持たない方法を検討」「家族に任せている」「考えたことがない」との回答は、実質的にまだ、お墓を準備していない人たちと考えられる

◆お墓の心配があると回答した人の理由内訳

その理由をお聞きかせください

106 件の回答



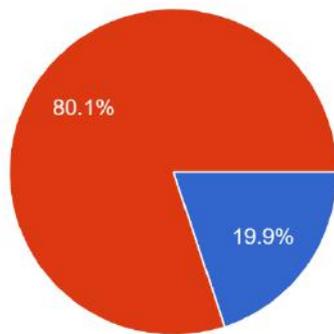
- 自分のお墓をどこに準備しようかと考...
- お墓を準備しておきたいがお金がかかる
- お墓の面倒を見てくれる家族がない
- 家族が遠くにいてお墓の面倒がみられ...
-
- いくつかの選択ができるが、決めかね...
- 北杜市にお墓を作るか、散骨にするか...
- 檀家になりたく無いし墓石を建立した...

▲ 1/4 ▼

- * お墓の心配にも想定以上にいろいろな理由がある
- * 「お金がかかる」経済的な問題、「面倒をみてくれる家族がない」後継者の問題、「遠くにいてお墓の面倒がみられない」墓守の問題・・・
- * それ以外にも、無宗教や檀家寺の問題等、いろいろな理由がある

H-2. 現在住んでいる八ヶ岳山麓に自分のお墓を持ちたいと思いませんか

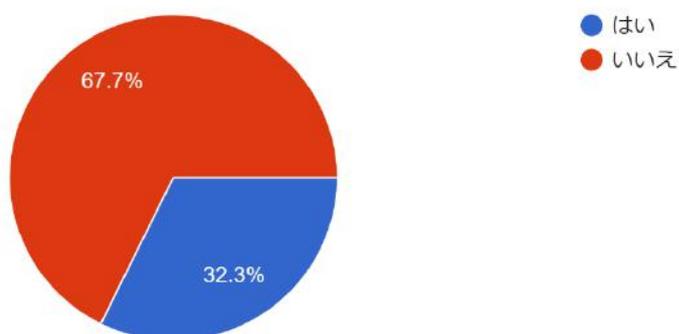
477 件の回答



- はい
- いいえ

- * 「いいえ」のなかには、既にお墓を準備している人が含まれる
- * 2割の人たちが、「八ヶ岳山麓にお墓があったら良い」と思っている

H-3. 茅野市や松本市、韮崎市には市営の霊園が...の霊園が準備されれば検討したいと思いますか
477 件の回答



- * 「八ヶ岳山麓にお墓を」という人が2割に対して、「市営霊園を」と望む人は3割を超える
- * 経済課題、後継課題、墓守課題からも公営墓地を望む人が回答者全体の1/3を占める

◆ 「市営墓地を検討したい」とした人のみ 墓地の形態を回答

どのような墓地があれば検討したいと思いますか
154 件の回答



- * 72%の人は樹木葬式の公園墓地を望んでいる
- * 一般的な墓石墓を要望する人は1割程度に過ぎない